

佐賀県外国籍住民アンケート調査結果

令和4年2月

佐賀県地域交流部国際課

I 「佐賀県外国籍住民アンケート調査」概要

1 調査の目的

県内各市町に暮らす外国籍住民の現状や課題を把握するためのアンケート調査を実施し、その結果から県内各市町及び県の多文化共生の社会づくりの推進に係る施策の方向性を明確にする。

2 調査期間

令和3年9月1日～11月30日

3 調査対象

県内に居住する15歳以上の全ての外国籍住民(令和3年8月1日現在)
6,429人

4 調査方法

ウェブアンケート調査

5 調査項目

- (1) あなたのこと(性別、年齢、出身国等の基礎情報)
- (2) 生活について
- (3) 日本語学習について
- (4) 医療について
- (5) 災害・防災について
- (6) 仕事について
- (7) 教育・子育てについて
- (8) 地域との関わりについて
- (9) 地域社会への参加について
- (10) 佐賀県について

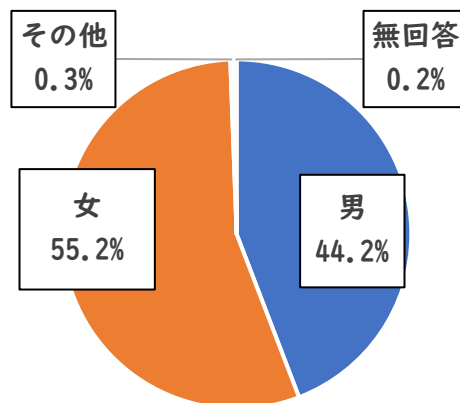
6 回収結果

860件／6,429人(回収率:13.3%)

Ⅱ 「佐賀県外国籍住民アンケート調査」結果

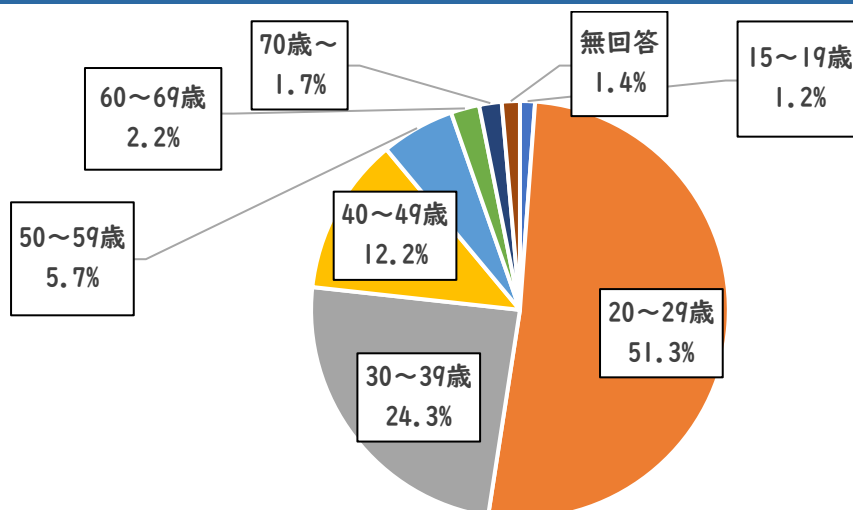
あなたのこと

問 1. あなたの性別はどれですか。選んでください。



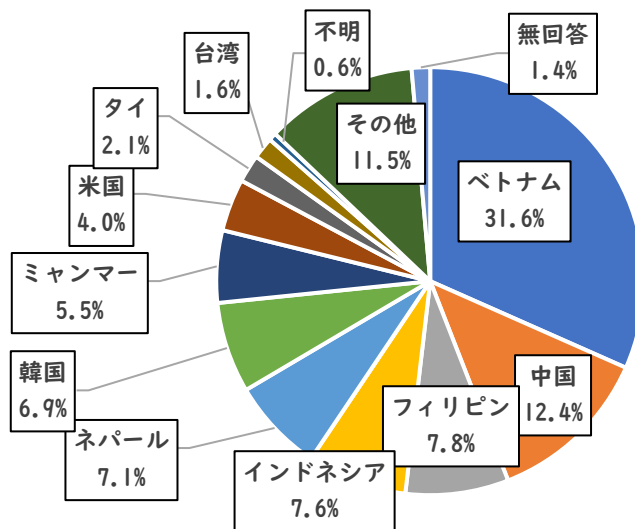
「男性」44.2%、「女性」55.2%、「その他」0.3%となっている。

問 2. あなたは何歳ですか。



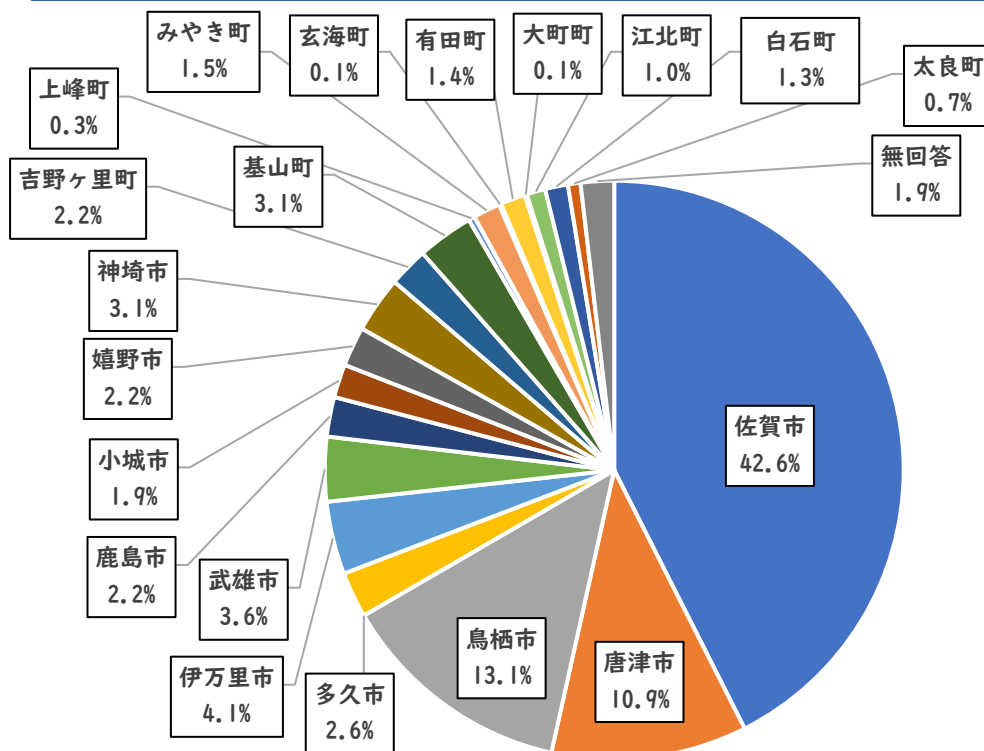
「20~29歳」が51.3%で最も多く、次いで「30~39歳」24.3%となっており、この2項目で全体の75%以上を占めている。

問 3. あなたの出身国・地域はどこですか。



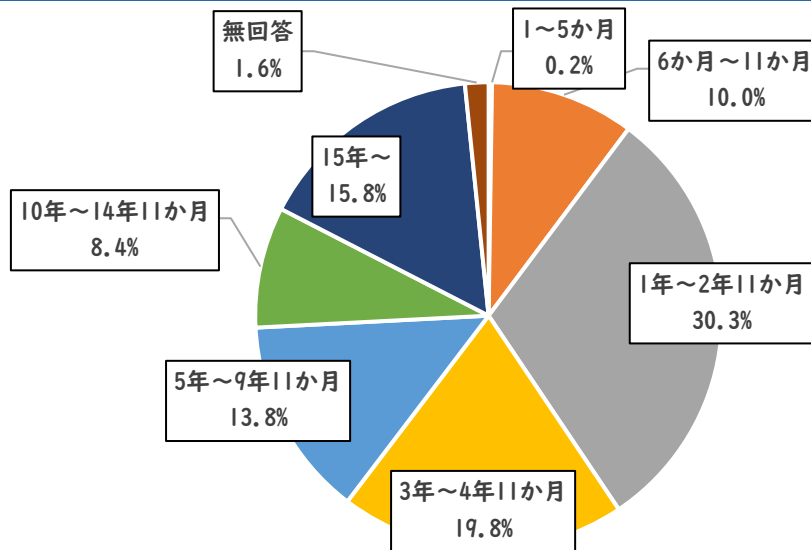
「ベトナム」が 31.6%と最も多く、次いで「中国」12.4%、「フィリピン」7.8%、「インドネシア」7.6%、「ネパール」7.1%と続いている。

問 4. あなたは佐賀県のどこに住んでいますか。



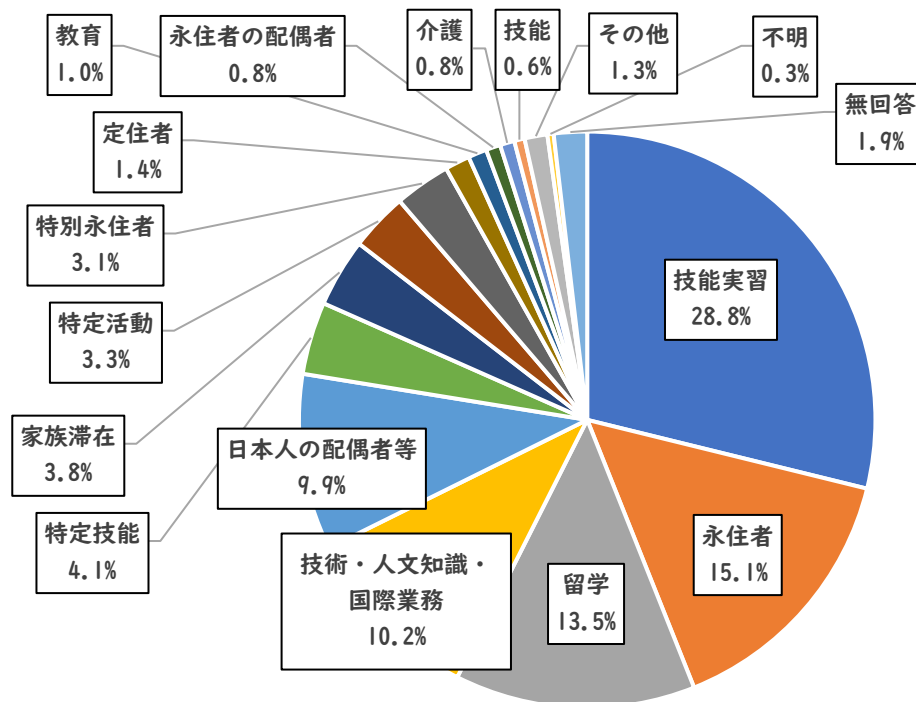
「佐賀市」が 42.6%と最も多く、次いで「鳥栖市」13.1%、「唐津市」10.9%と続いている。

問 5. あなたはどのくらい日本に住んでいますか。



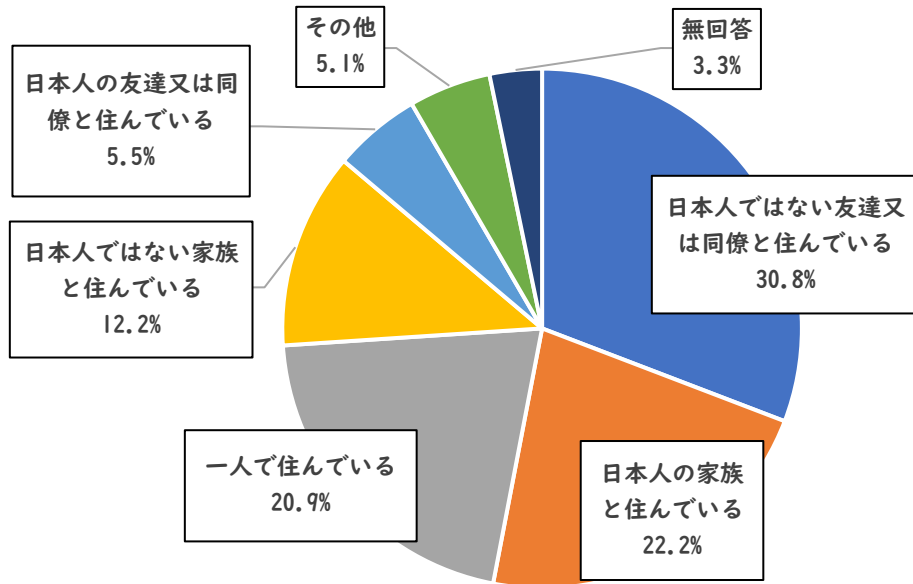
「1年～2年11か月」が30.3%と最も多く、次いで「3年～4年11か月」19.8%、「15年～」15.8%と続いている。

問 6. あなたの在留資格(ビザ)の種類はなんですか。



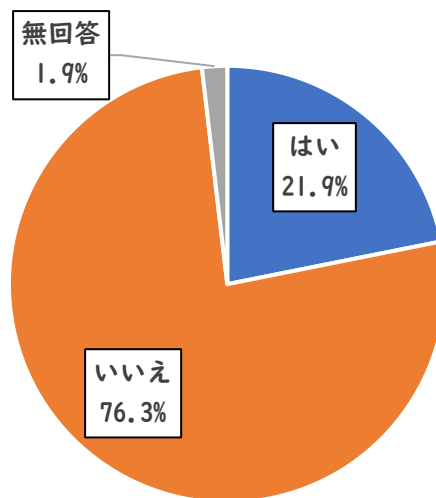
「技能実習」が28.8%と最も多く、次いで「永住者」15.1%、「留学」13.5%、「技術・人文知識・国際業務」10.2%と続いている。

問 7. あなたは今、だれと住んでいますか。一人ですか、だれかと一緒に住んでいますか。



「日本人ではない友達又は同僚と住んでいる」が 30.8%と最も多く、「日本人の家族と住んでいる」22.2%、「一人で住んでいる」20.9%となっている。

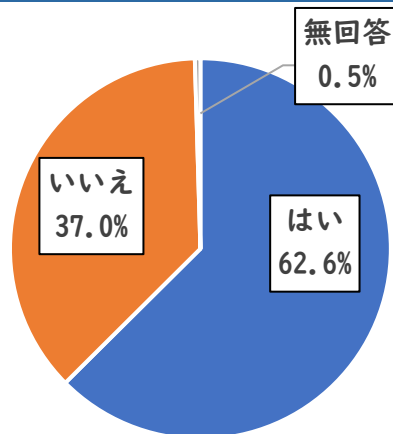
問 8. あなたは今、自分の子供(0才～22才)といっしょに住んでいますか。



「はい」21.9%、「いいえ」76.3%となっている。

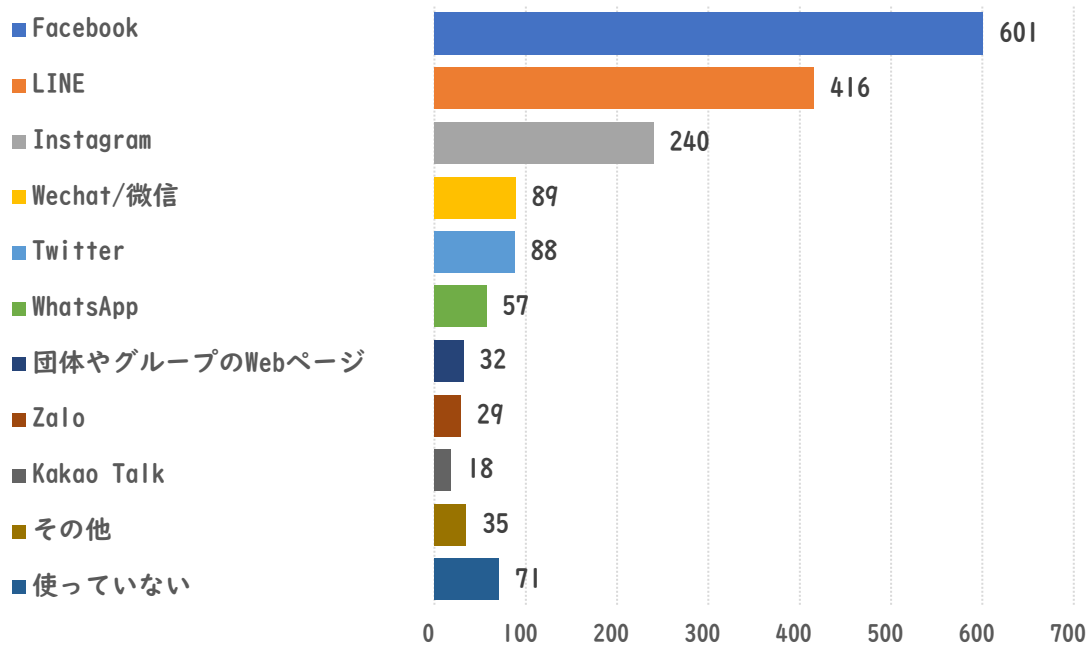
生活について

問 9. 日本で契約した携帯電話は持っていますか。



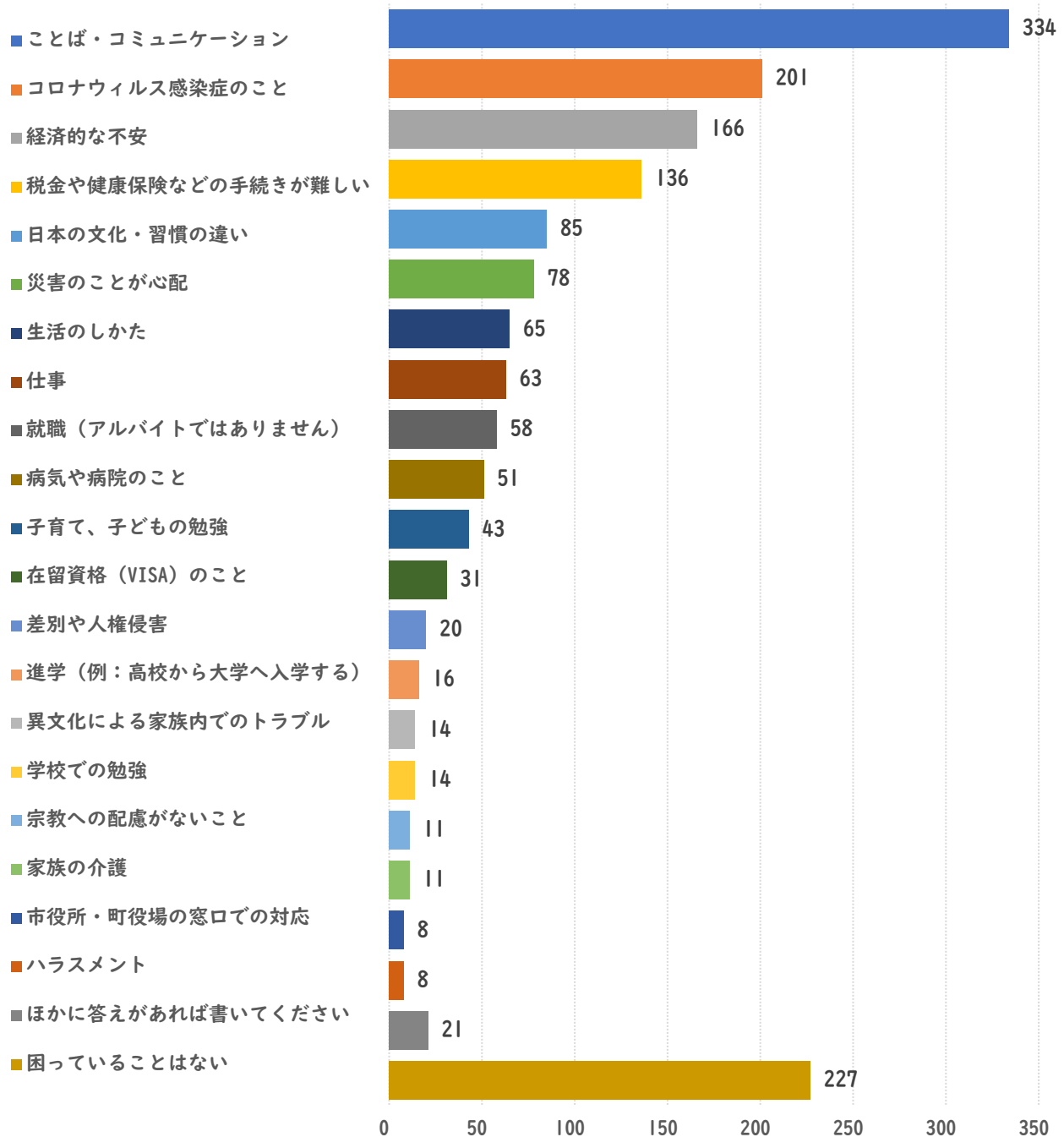
「はい」62.6%、「いいえ」37.0%となっている。

問 10. あなたが日本の生活のための情報を見ている、SNS や Web ページを教えてください。(いくつ選んでもいいです。)



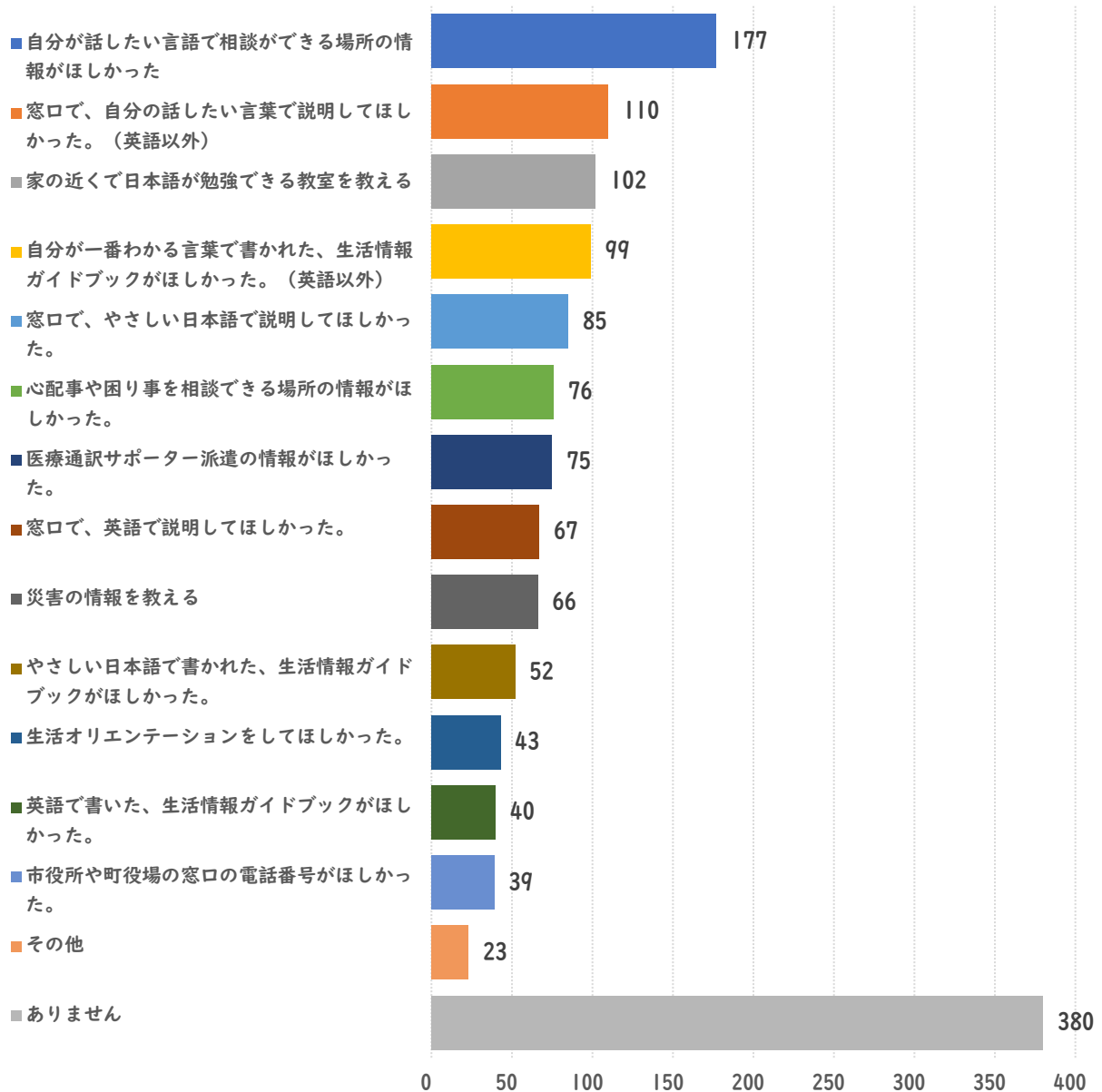
「Facebook」が 601 人と最も多く、次いで「LINE」416 人、「Instagram」240 人と続いている。

問 11. 佐賀県に住んでいて、困っていることはありますか。それは何ですか。(3つまで選ぶことができます。1つ、2つでもいいです)



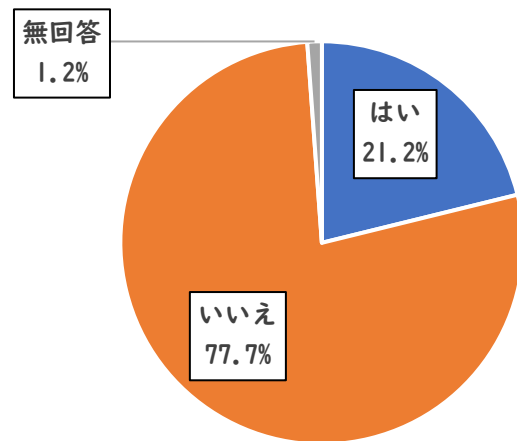
「ことば・コミュニケーション」が 334 人と最も多く、「コロナウイルス感染症のこと」201 人、「経済的な不安」166 人と続いている。一方、「困っていることはない」は、227 人となっている。

問 12. あなたが初めて佐賀県に来て、転入の手続きをした時、住んでいる市役所・町役場にしてほしかったことは何ですか。(3つまで選ぶことができます。1つ、2つでもいいです。)



「自分が話したい言語で相談できる場所の情報がほしかった」が 177 人、「窓口で、自分の話したい言語で説明してほしかった。(英語以外)」110 人、「家の近くで日本語が勉強できる教室を教える」102 人となっている。一方で、「ありません」が 380 人となっている。

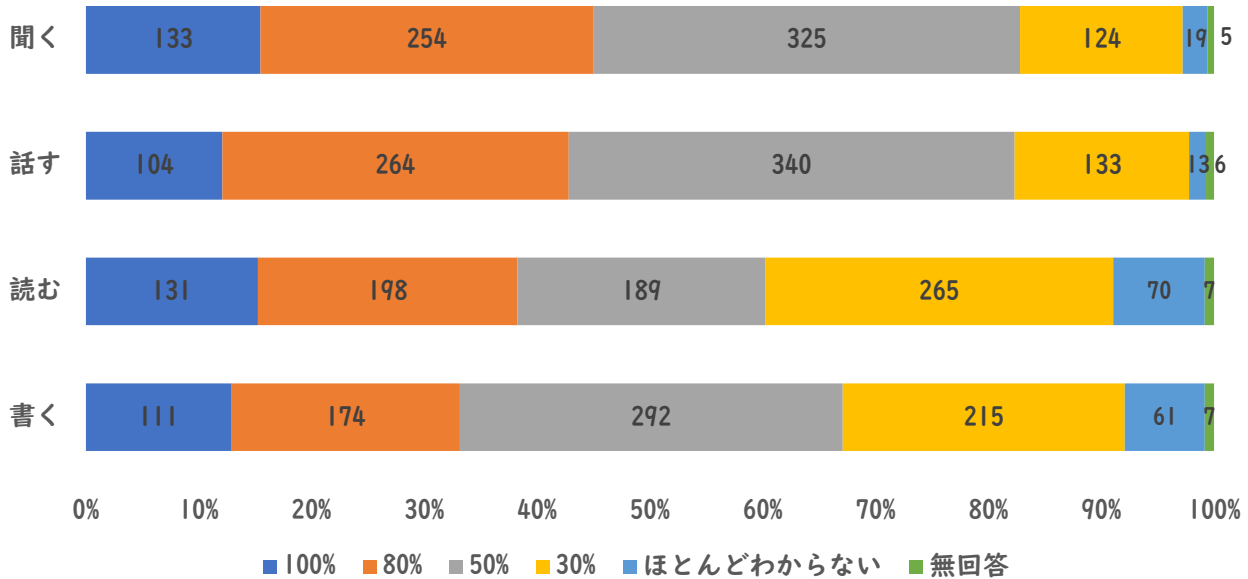
問 13. 市役所や町役場に行ったときに使える多言語通訳コールセンターを知っていますか。(コールセンターでは、電話をすると 20 の言葉で通訳をしてもらえます。)



「はい」21.2%、「いいえ」77.7%となっている。

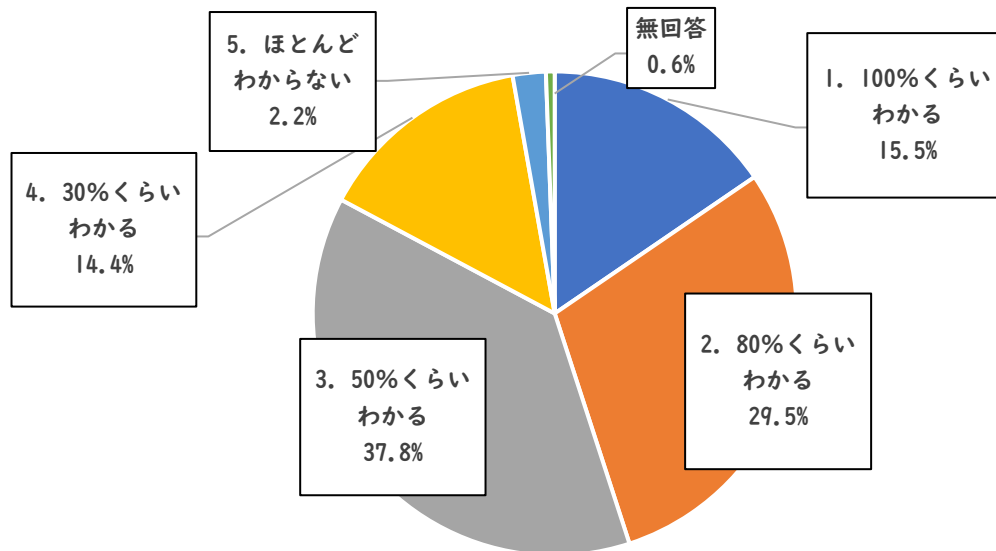
日本語の勉強について

あなたは今、日本語がどのくらいできますか。(問 14~17)



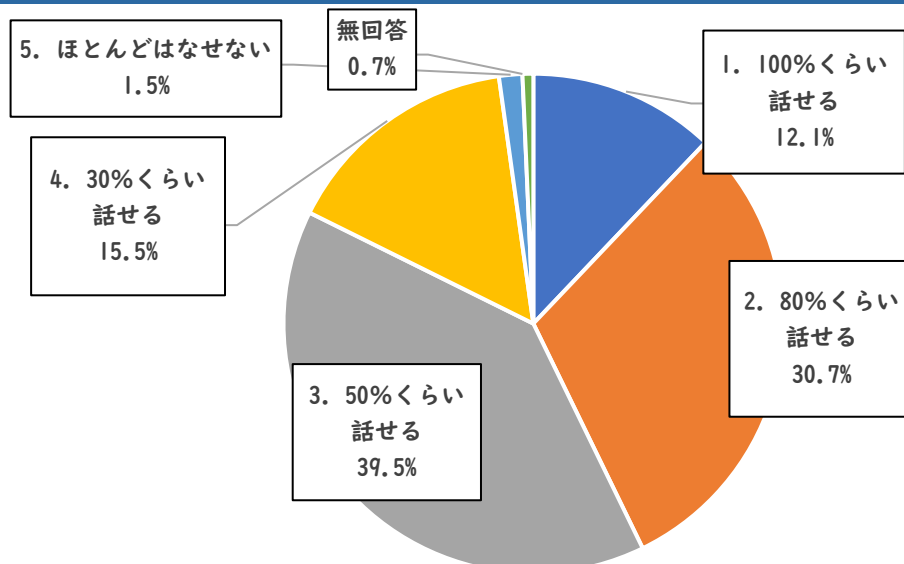
「聞く」、「話す」は、4割以上の方が、「80%程度以上わかる／話せる」となっている。「読む」、「書く」の方が、難易度が上がるとみられ、6割以上の方が「50%程度わかる／書ける」、「30%程度わかる／書ける」、「ほとんどわからない」となっている。

問 14. 日本語を聞く



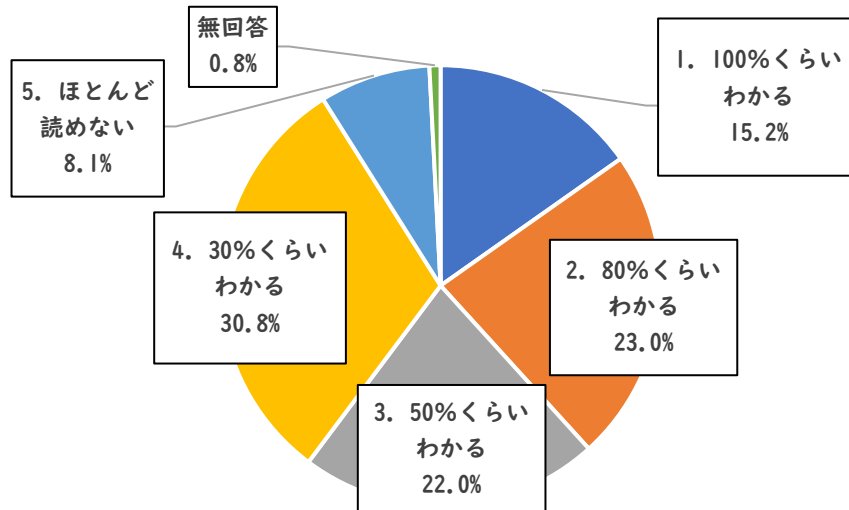
「50%くらいわかる」が 37.8%で最も高く、次に「80%くらいわかる」29.5%、「100%くらいわかる」15.5%と続いている。「ほとんどわからない」は、2.2%。

問 15. 日本語を話す



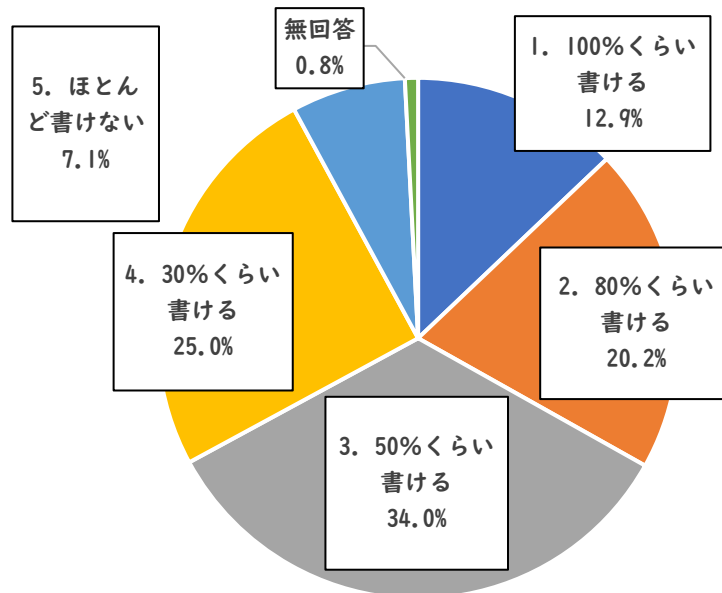
「50%くらい話せる」が 39.5%で最も高く、次いで「80%くらい話せる」30.7%、「30%くらい話せる」15.5%となっている。「ほとんどはなせない」は、1.5%。

問 16. 日本語を読む



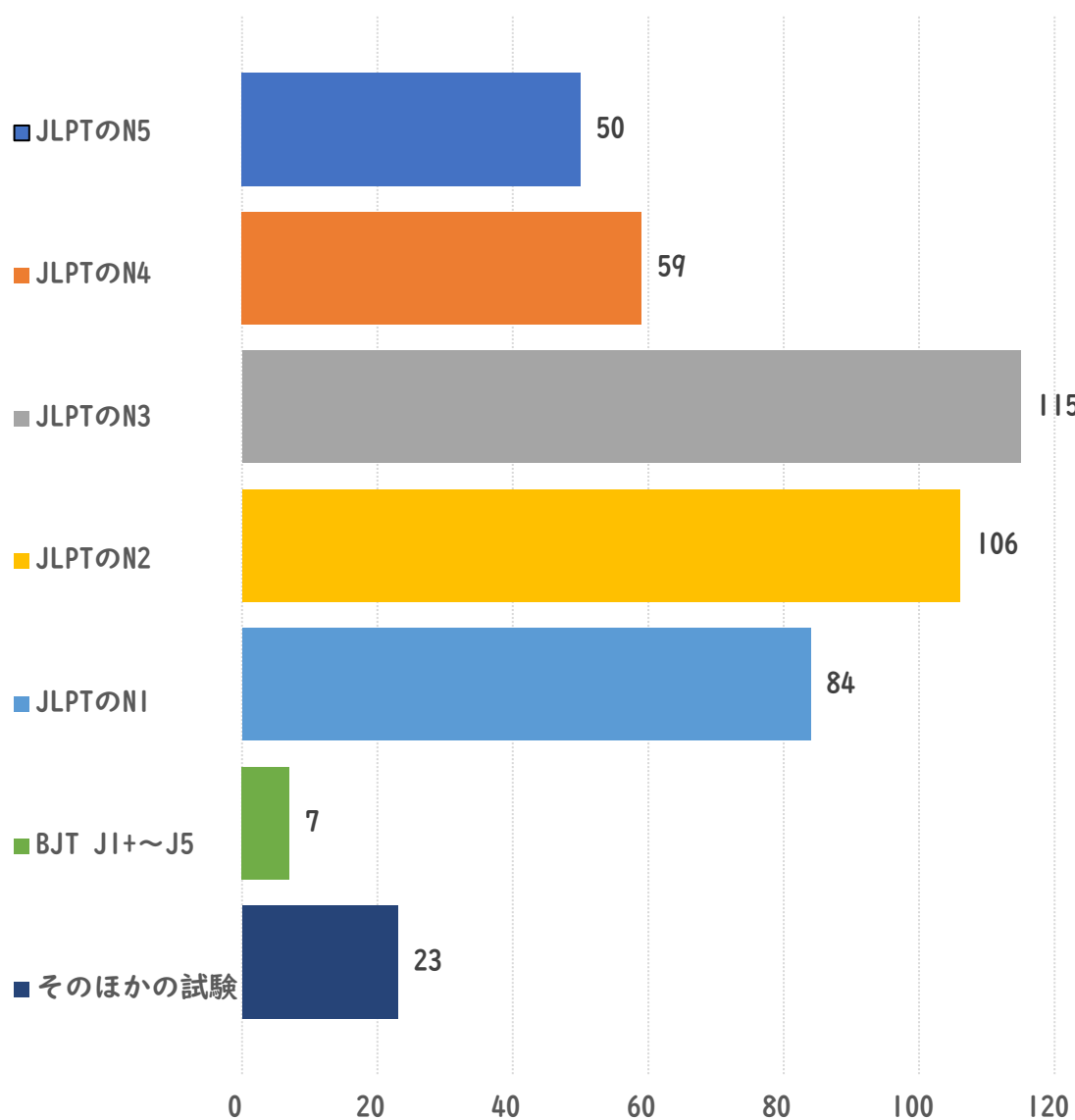
「30%くらいわかる」が 30.8%で最も高く、次いで「80%くらいわかる」23.0%、「50%くらいわかる」22.0%となっている。「ほとんど読めない」は、8.1%。

問 17. 日本語を書く



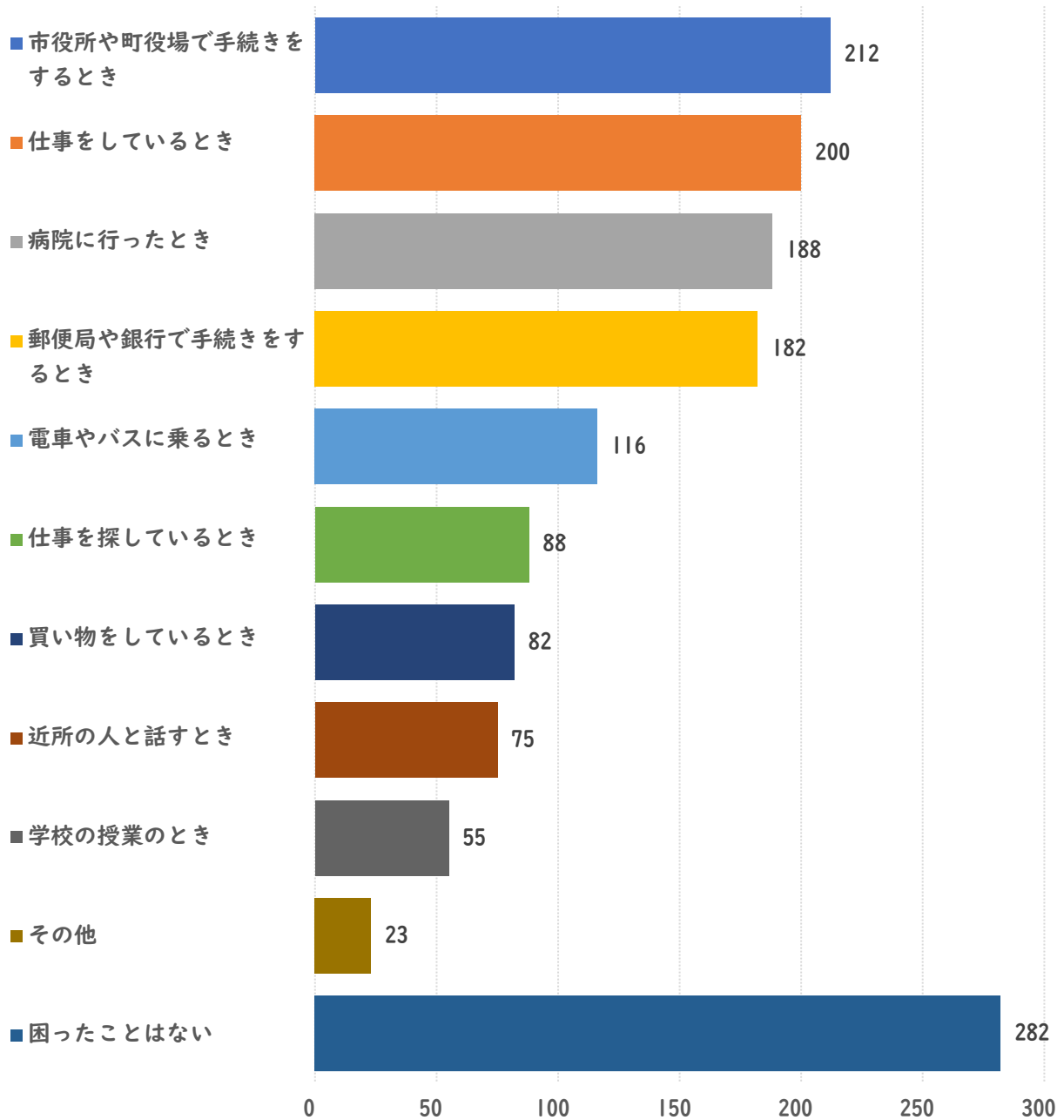
「50%くらい書ける」が 34.0%で最も高く、「30%くらい書ける」25.0%、「80%くらい書ける」20.2%となっている。「ほとんど書けない」は、7.1%。

問 18. あなたは日本語の試験で合格しましたか（JLPT:日本語能力試験 /Japanese-Language Proficiency Test やBJT:ビジネス日本語能力テスト /Business Japanese Proficiency Test など）。合格したものは全部教えてください



「JLPT の N3」が、115 人と最も高く、次いで「JLPT の N2」106 人、「JLPT の N1」84 人となっている。

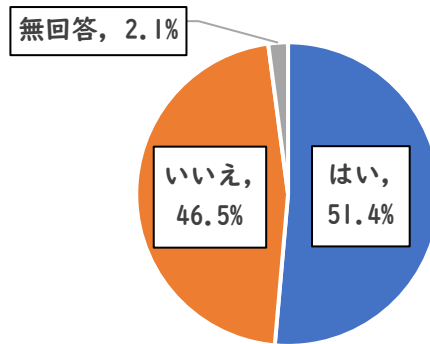
問 19. あなたは日本語が理由で困ったことがありますか。最近1年間で困ったことを選んでください。(いくつ選んでもいいです。)



「市役所や町役場で手続きをするとき」が 212 人で最も高く、次いで「仕事をしているとき」200 人、「病院に行ったとき」188 人、「郵便局や銀行で手続きをするとき」182 人となっている。

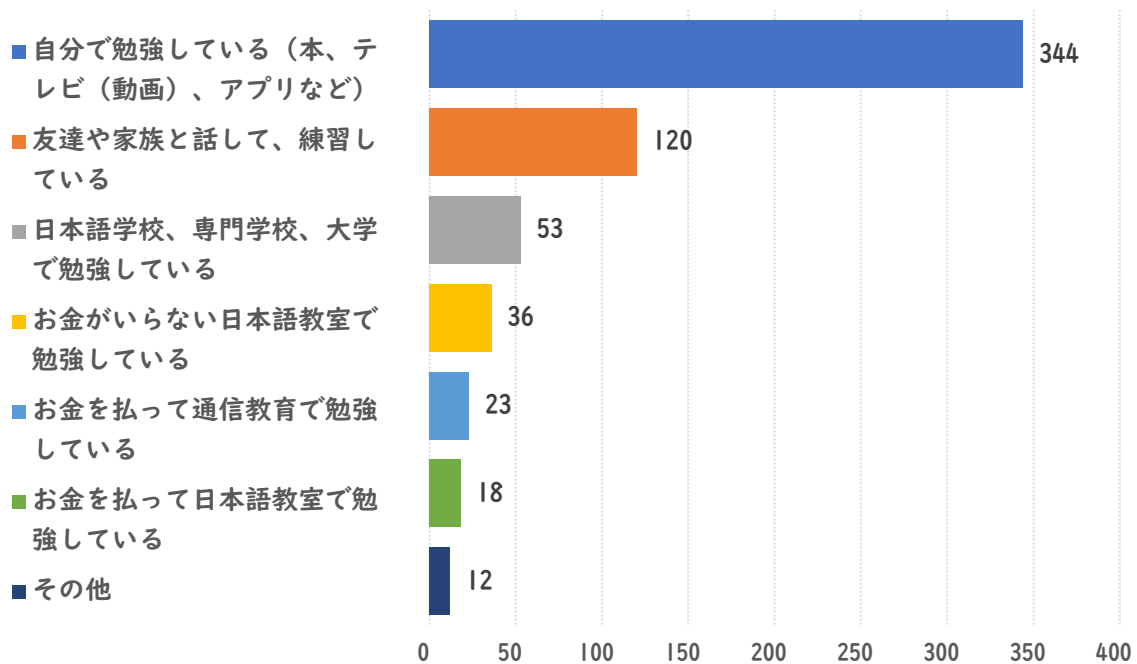
一方、「困ったことはない」は、282 人。

問 20. あなたは今、日本語を勉強していますか。(学校ではない場所での勉強でもいいです)



「はい」51.4%、「いいえ」46.5%となっている。

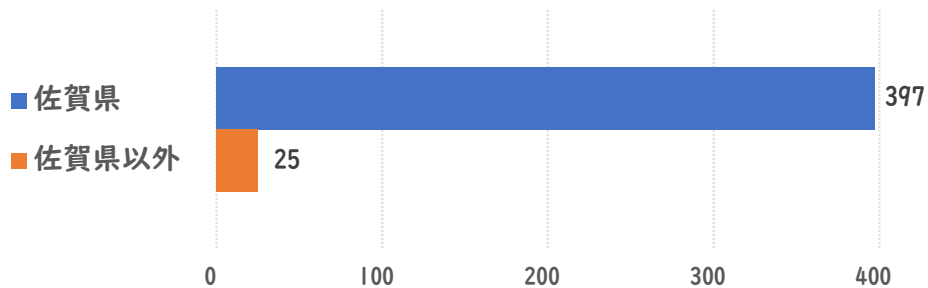
問 21. 問 20 で「はい」と答えた人に聞きます。あなたは、どんな方法で日本語を勉強していますか(いくつ選んでもいいです。)



「自分で勉強している(本、テレビ(動画)、アプリなど)」が 344 人と最も多く、次いで「友達や家族と話して、練習している」が「友達や家族と話して、練習している」120 人となっている。

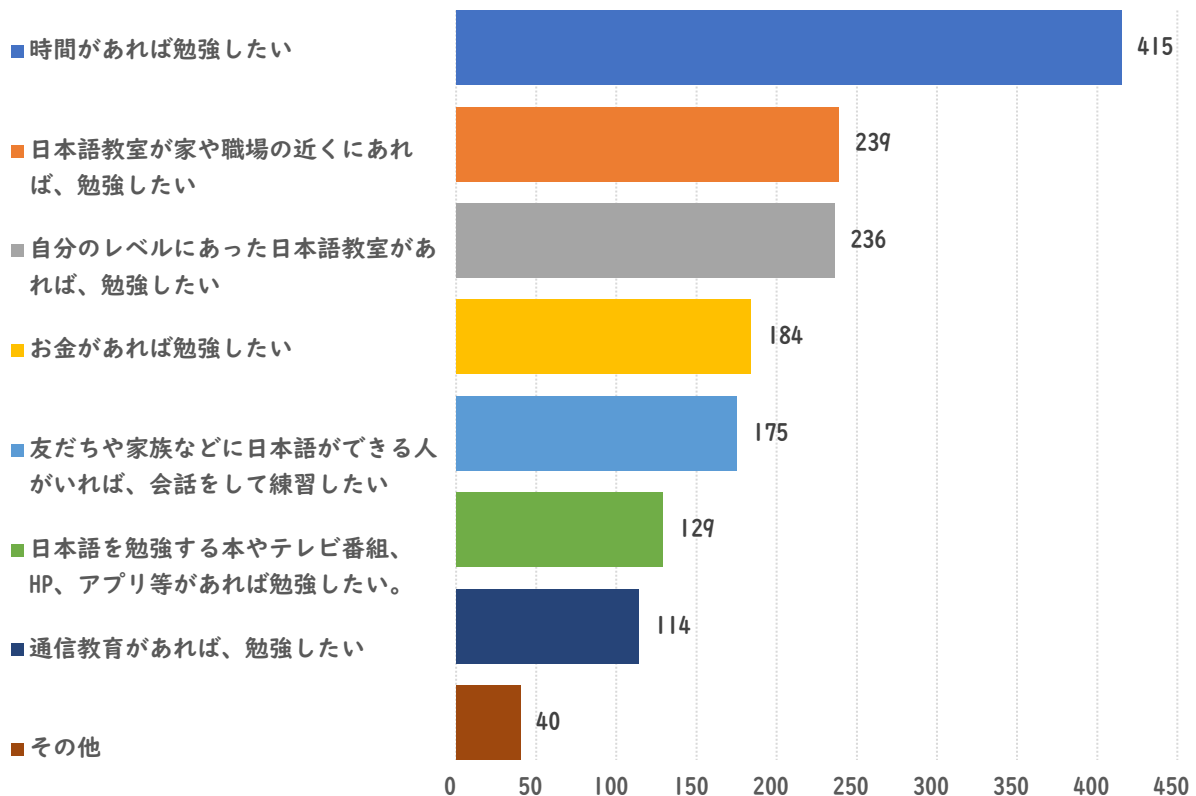
日本語教室については、「お金がいない日本語教室で勉強している」36 人、「お金を払って日本語教室で勉強している」18 人となっている。

問 22. 問 20 で「はい」と答えた人に聞きます。あなたは、今どこで日本語を勉強していますか。



「佐賀県」が 397 人、「佐賀県以外」が 25 人となっている。

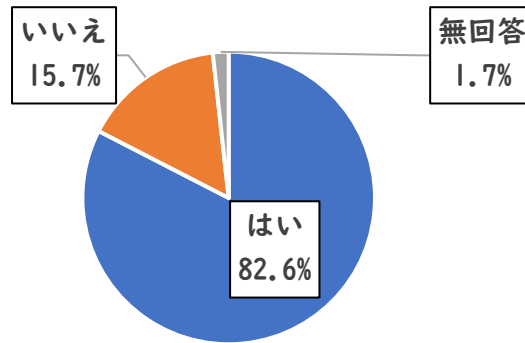
問 23. 何があれば、あなたはもっと日本語を勉強したいと思いますか。(3 つまで選ぶことができます。1 つ、2 つでもいいです。)



「時間があれば勉強したい」が 415 人で最も多く、次いで「日本語教室が家や職場の近くにあれば、勉強したい」239 人、「自分のレベルにあった日本語教室があれば、勉強したい」236 人となっている。

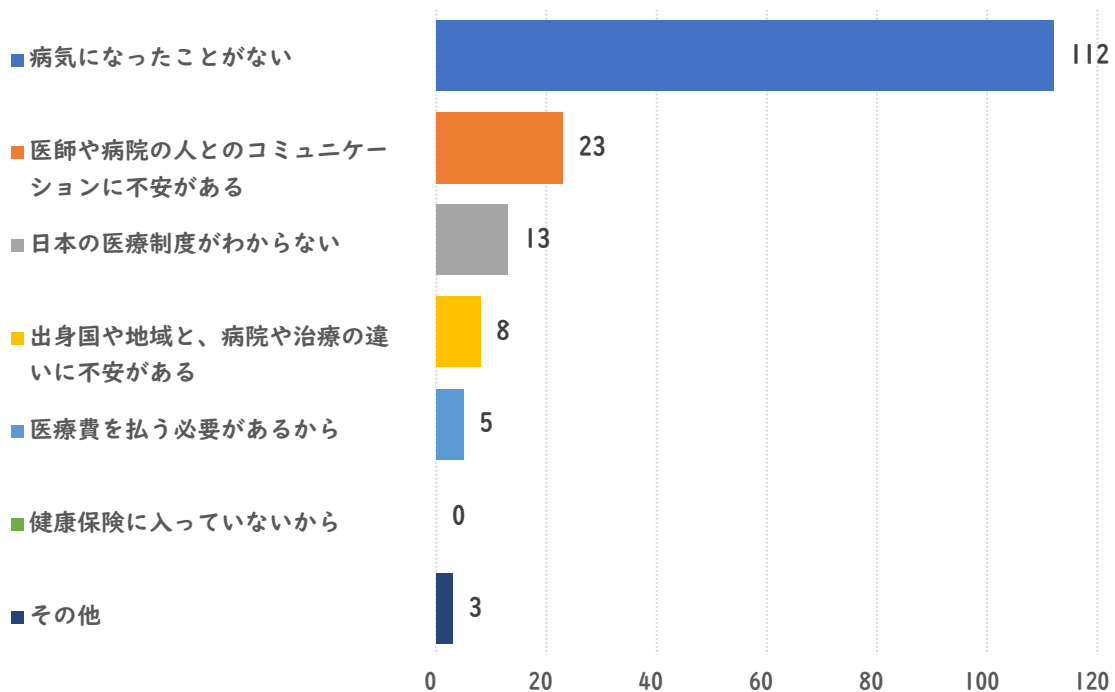
医療(病院など)について

問 24. 日本で病院に行ったことがありますか。



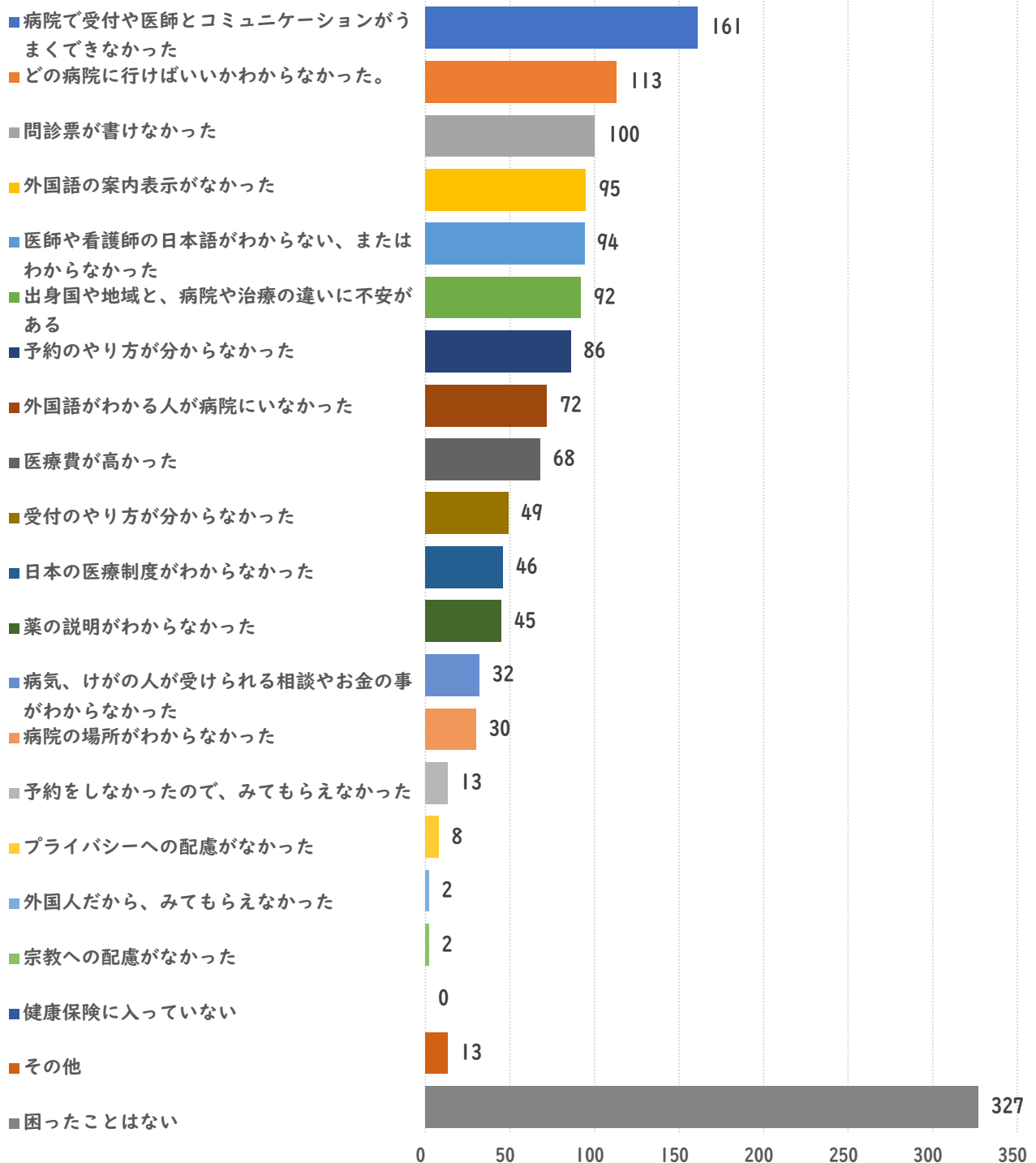
「はい」が 82.6%、「いいえ」が「15.7%」となっている。

問 25. 問 24 で「いいえ」と答えた人に聞きます。病院に行かなかったのはなぜですか。(いくつ選んでもいいです。)



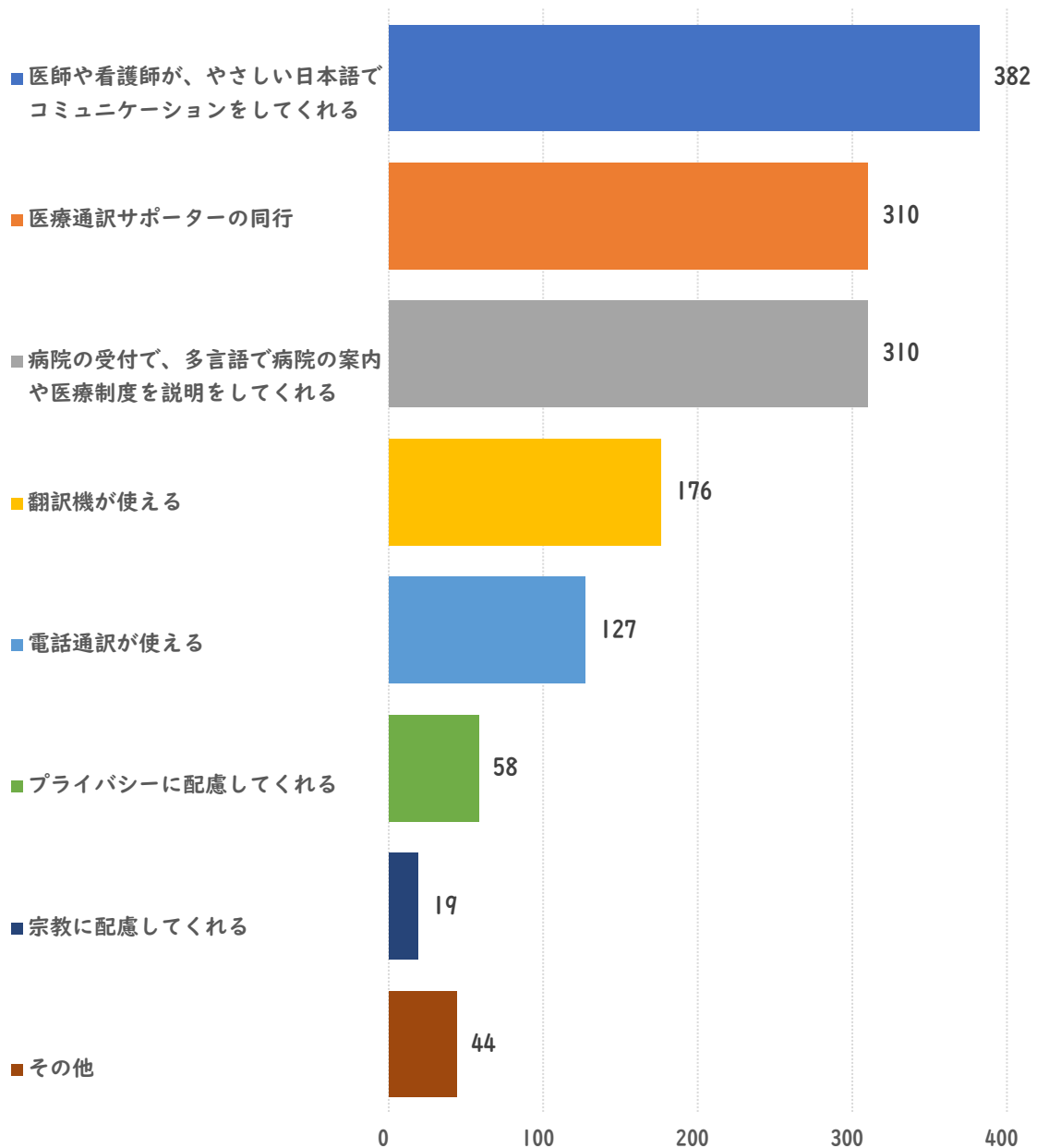
「病気になったことがない」112 人と最も多く、次いで「医師や病院の人とのコミュニケーションに不安がある」23 人と続いている。

問 26. 問 24 で「はい」と答えた人に聞きます。病院に行くときや病院に行ったときに困ったことがありますか。(いくつでも選んでいいです。)



「病院で受付や医師とコミュニケーションがうまくできなかった」が 161 人。次いで、「どの病院に行けばいいかわからなかった」113 人、「問診票が書けなかった」100 人となっている。一方、「困ったことはない」は、327 人。

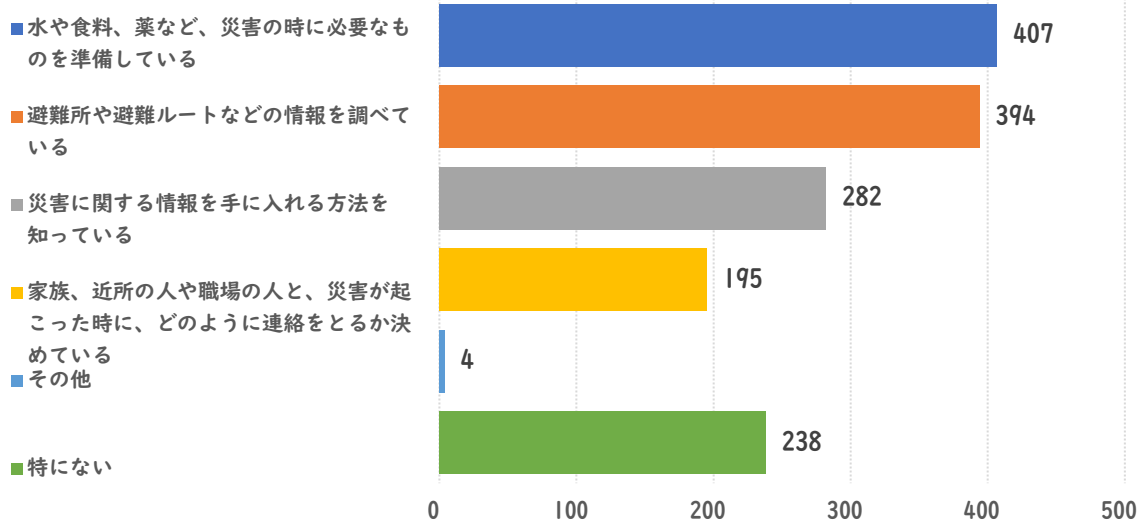
問 27. どんなことがあれば、病院に安心して行けますか。(3 つまで選べます。1 つ、2 つでもいいです。)



「医師や看護師が、やさしい日本語でコミュニケーションしてくれる」が 382 人で最も多く、次いで、「医療通訳サポーターの同行」及び「病院の受付で、多言語で病院の案内や医療制度を説明してくれる」310 人となっている。

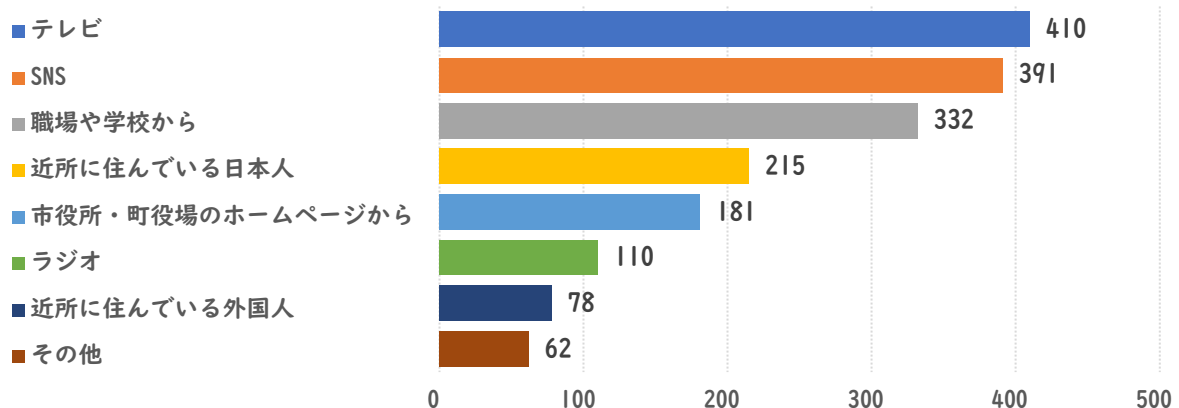
災害・防災(台風や地震などの時の準備)について

問 28. 日本で災害(台風や地震など)が起こった時のために、あなたが準備していることは何ですか。(いくつ選んでもいいです。)



「水や食料、薬など、災害時に必要なものを準備している」が407人で最も多く、次いで「避難所や避難ルートなどの情報を調べている」394人、「災害に関する情報を手に入れる方法を知っている」282人となっている。

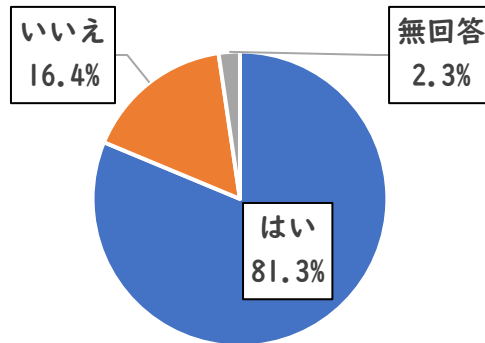
問 29. 災害が起こったとき、どこから情報を手に入れますか(もらいますか)。(いくつ答えてもいいです。)



「テレビ」が410人で最も多く、次いで「SNS」391人、「職場や学校から」332人となっている。

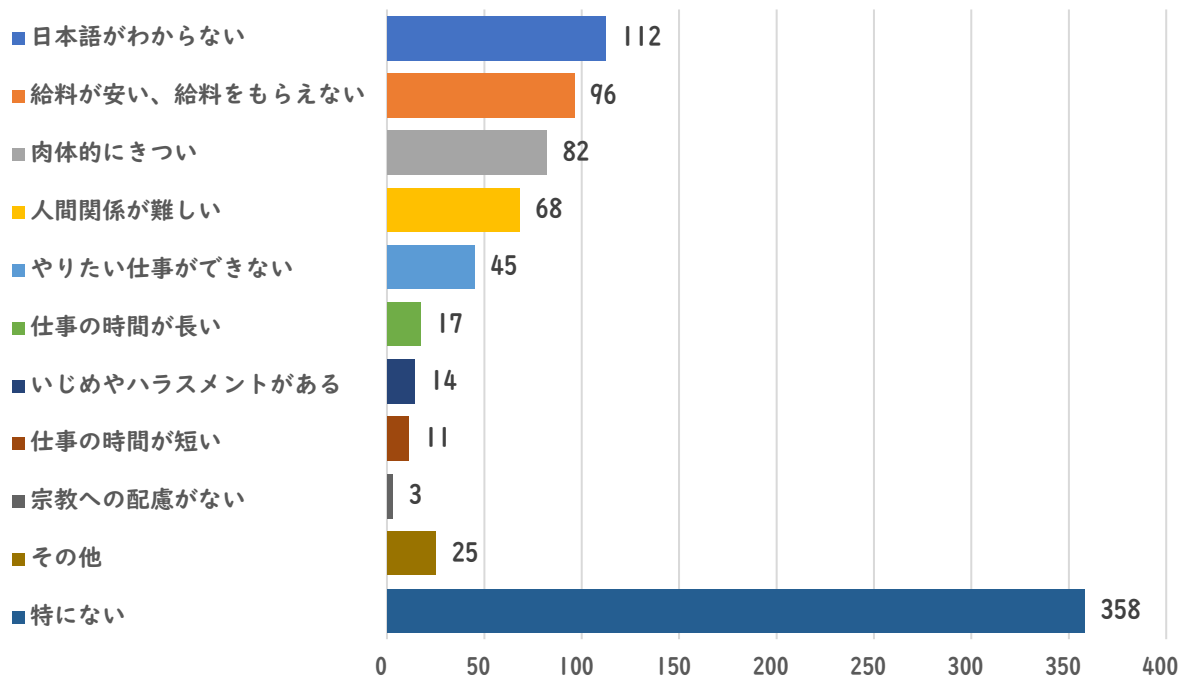
仕事について

問 30. あなたは今、仕事をしていますか。(技能実習やアルバイトをしている人も教えてください。)



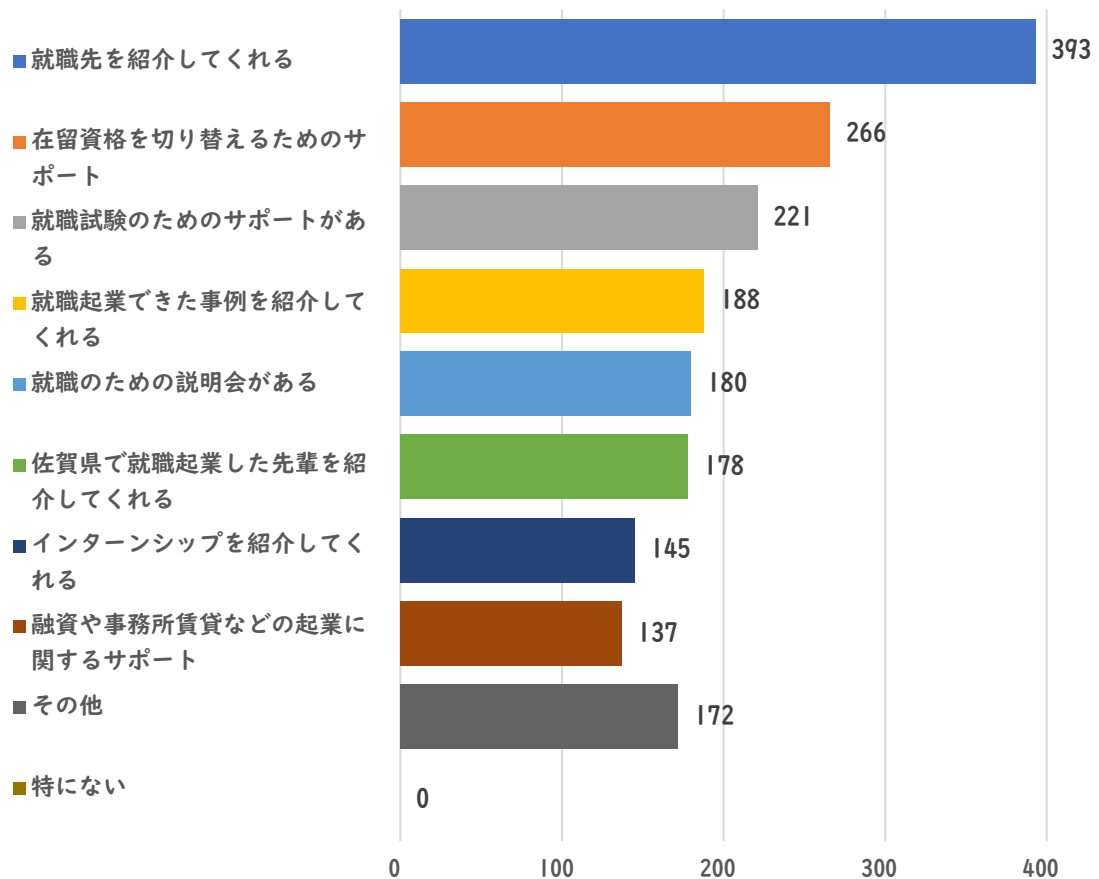
「はい」81.3%、「いいえ」16.4%となっている。

問 31. 問 30 で「はい」と答えた人に聞きます。現在の仕事について困っていることはありますか (複数回答可)



「日本語がわからない」が 112 人、「給料が安い、給料をもらえない」96 人、「肉体的にきつい」82 人となっている。一方「特にない」は、358 人。

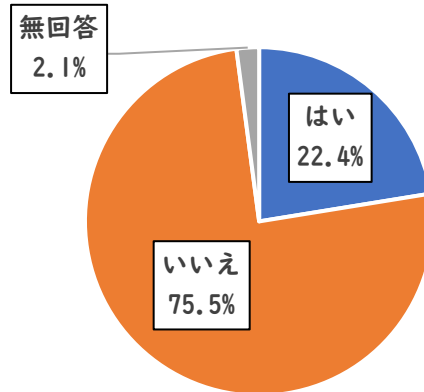
問 32. あなたが就職や転職(仕事を変える)、起業(自分で会社をつくる)をするとき、どんなサポートがあるといいですか。(いくつ選んでもいいです)



「就職先を紹介してくれる」が 393 人で最も多く、次いで「在留資格を切り替えるためのサポート」266 人、「就職試験のためのサポートがある」221 人となっている。

教育・子育てについて

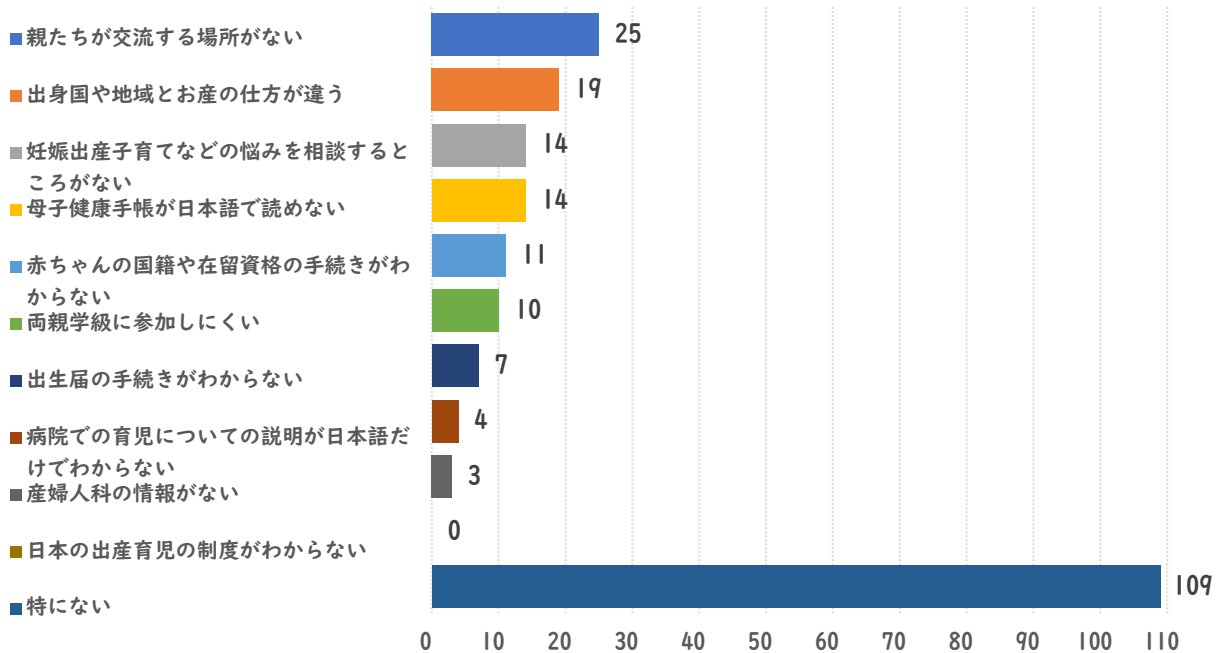
問 33. 佐賀県で子育てをしている、または、子育てをしていたことがありますか。



「はい」22.4%、「いいえ」75.5%となっている。

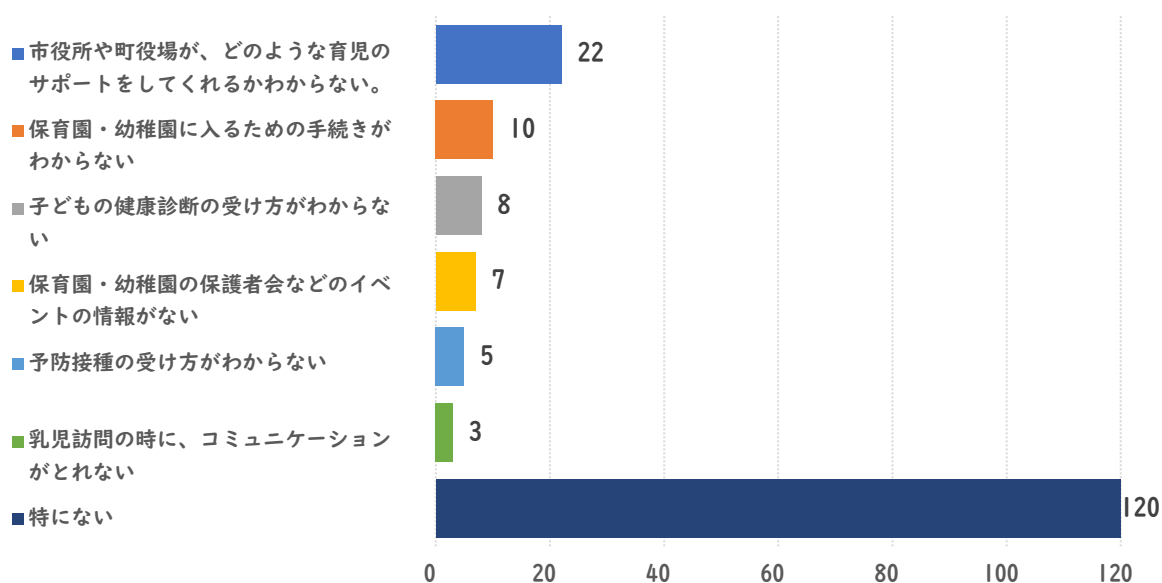
問 34. 問 33 で「はい」と答えた人に聞きます。佐賀県での子育てや教育について、困ったことがありますか。(いくつ選んでもいいです。)

【妊娠・出産】



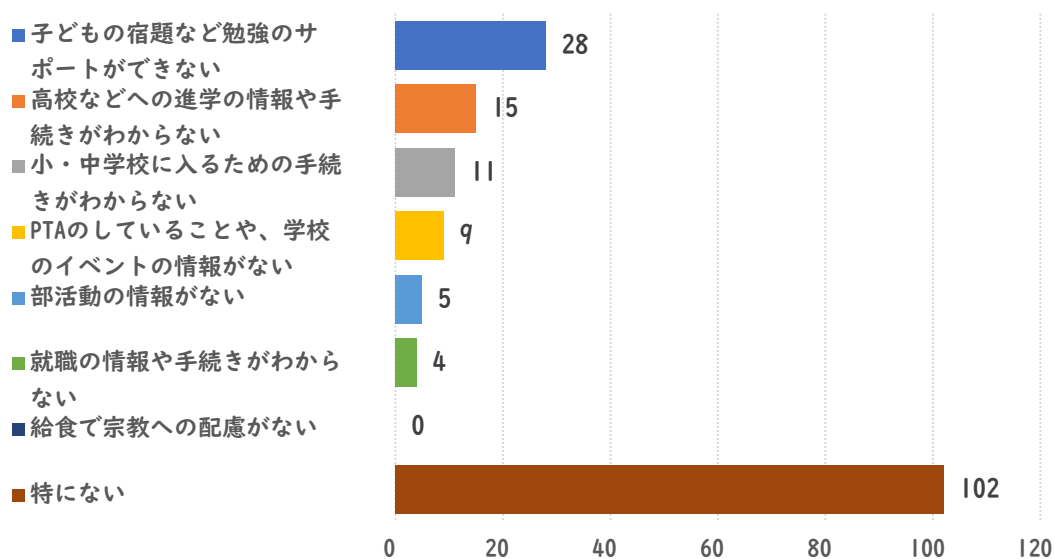
「親たちが交流する場所がない」25人、「出身国や地域とお産の仕方が違う」19人となっている。一方「特にない」は、109人。

【乳・幼児期】



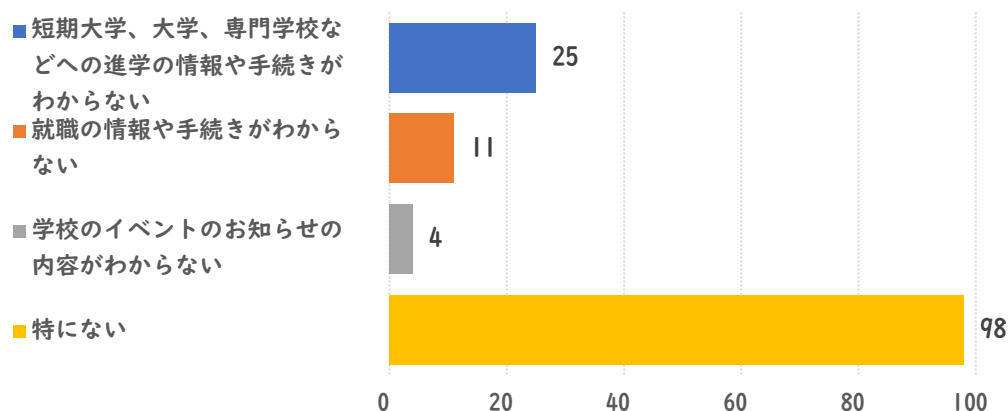
「市役所や町役場が、どのようなサポートをしてくれるかわからない」22人、「保育園・幼稚園に入るための手続きがわからない」10人となっている。一方、「特にない」は、120人となっている。

【小・中学校】



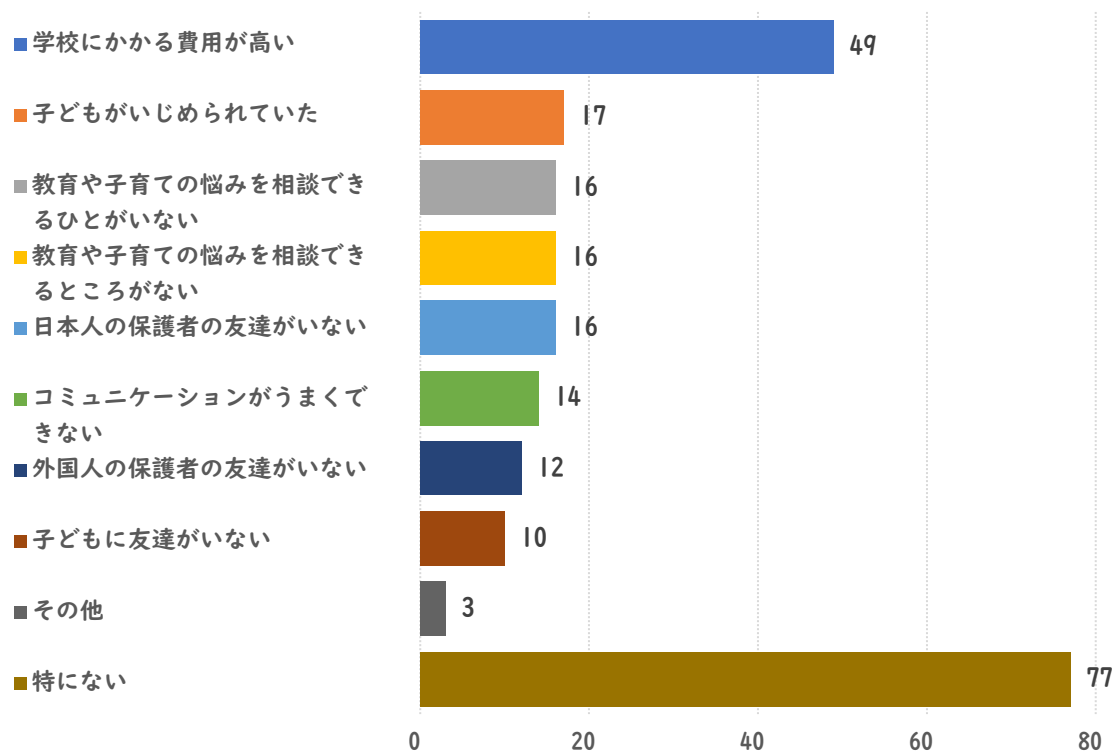
「子供の宿題など勉強のサポートができない」28人、「高校などへの進学の情報や手続きがわからない」15人となっている。一方、「特にない」は、102人。

【高校・大学等】



「短期大学、大学、専門学校などへの進学の情報や手続きがわからない」25人、「就職の情報や手続きがわからない」11人となっている。一方「特にない」は98人。

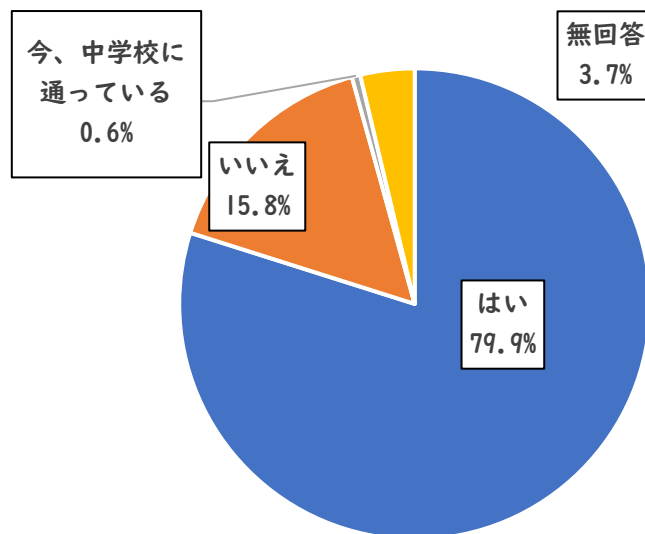
【その他】



「学校にかかる費用が高い」が49人、「子どもがいじめられていた」17人となっている。一方「特にない」は、77人。

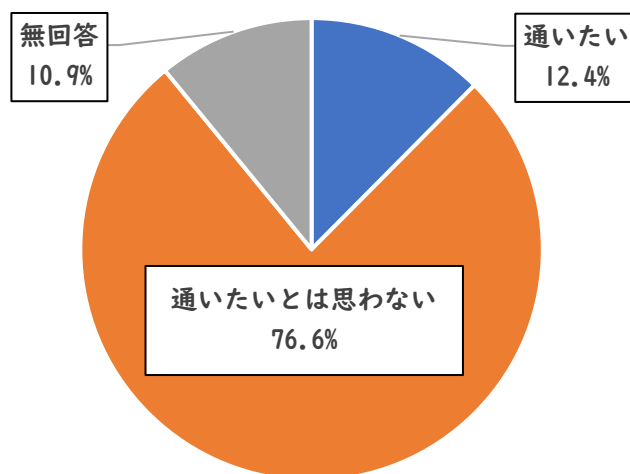
夜間中学に関する質問

問 35. あなたは、日本または、あなたの出身国・地域の義務教育課程（国が決めた学校に行かなければいけない年数。日本では中学校まで）を卒業していますか。



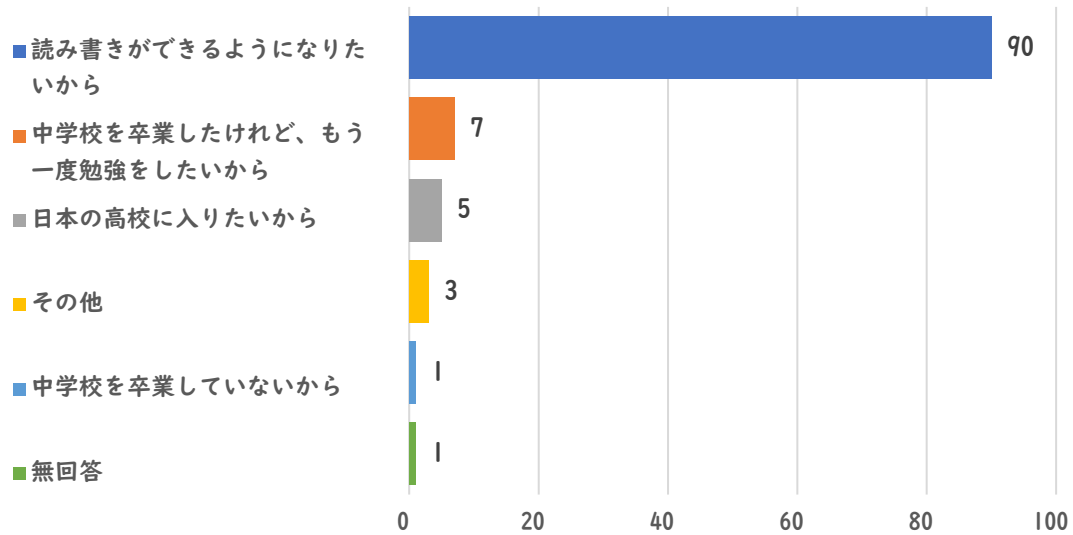
「はい」79.9%、「いいえ」15.8%となっている。

問 36. あなたは、夜間中学があれば、通いたいですか。



「通いたい」12.4%、「通いたいとは思わない」76.6%となっている。

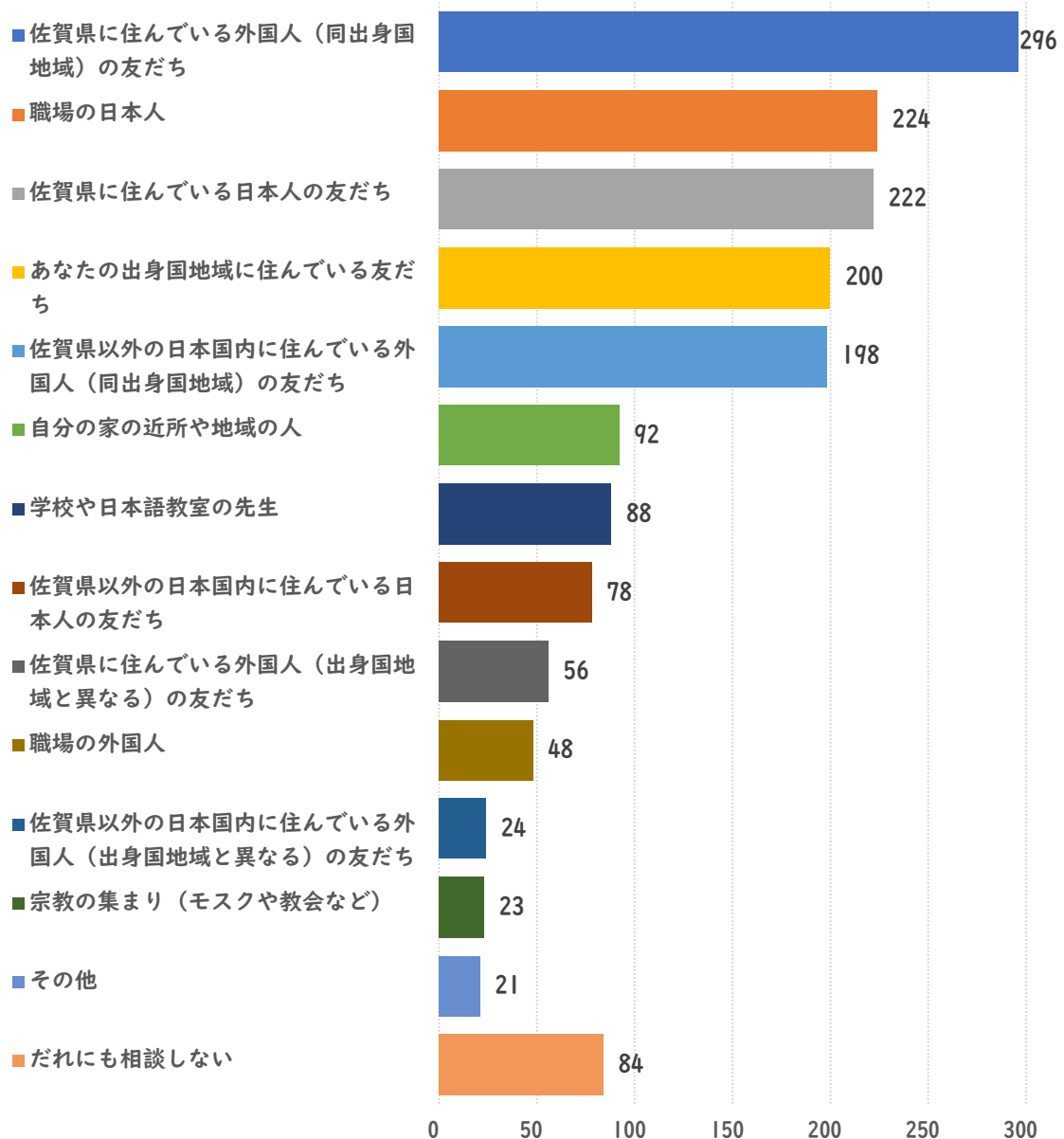
問 37. 問 36 で「通いたい」と答えた人に聞きます。夜間中学に通いたい理由は何ですか。



「読み書きができるようになりたいから」が 90 人と最も多くなっている

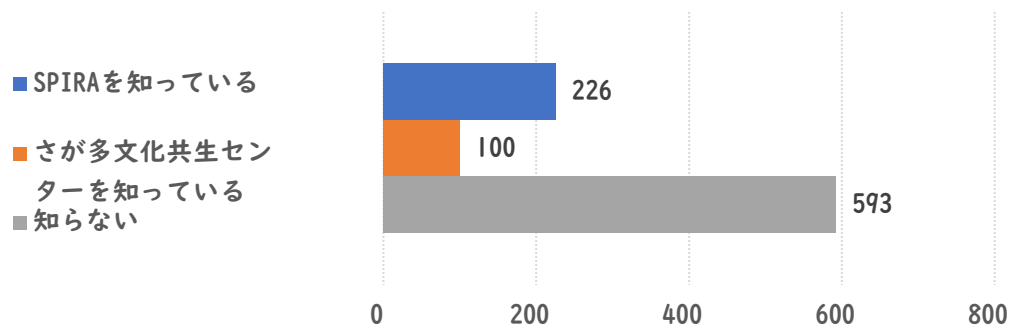
地域とのかかわりについて

問 38. あなたが困った時に、家族の他に、相談できる人はだれですか。(3つまで選べます)



「佐賀県に住んでいる外国人（同出身国地域）の友だち」が 296 人で最も多く、次いで「職場の日本人」224 人、「佐賀県に住んでいる日本人の友だち」222 人となっている。

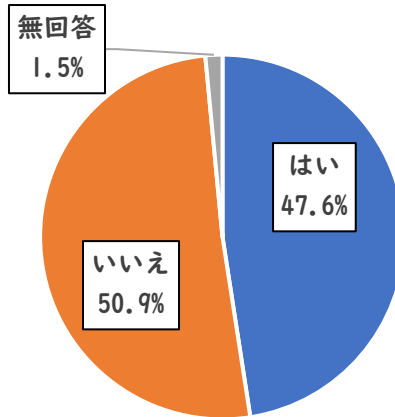
問 39. 外国人住民の支援をしている佐賀県国際交流協会 (Saga Prefecture International Relations Association) や、外国人の総合相談窓口「さが多文化共生センター」を知っていますか。(いくつ選んでもいいです。)



「SPIRAを知っている」226人、「さが多文化共生センターを知っている」100人、「(どちらも)知らない」593人となっている。

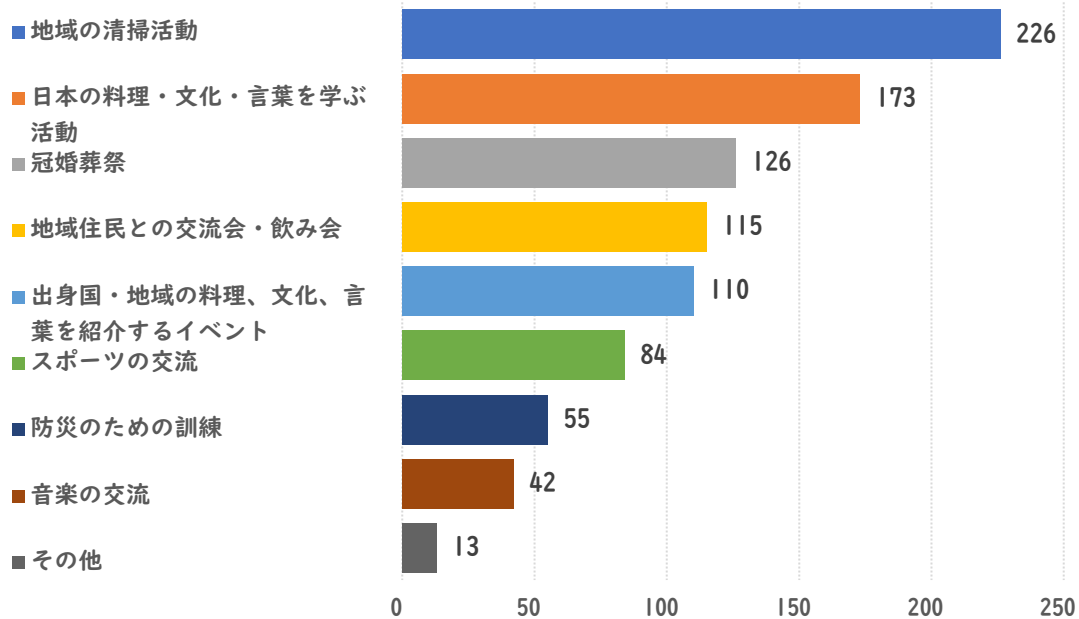
地域社会への参加について

問 40. 地域で行われる交流、イベント、お祭りやそうじ等の地域活動(家の近くの地域での活動)に参加したことはありますか。



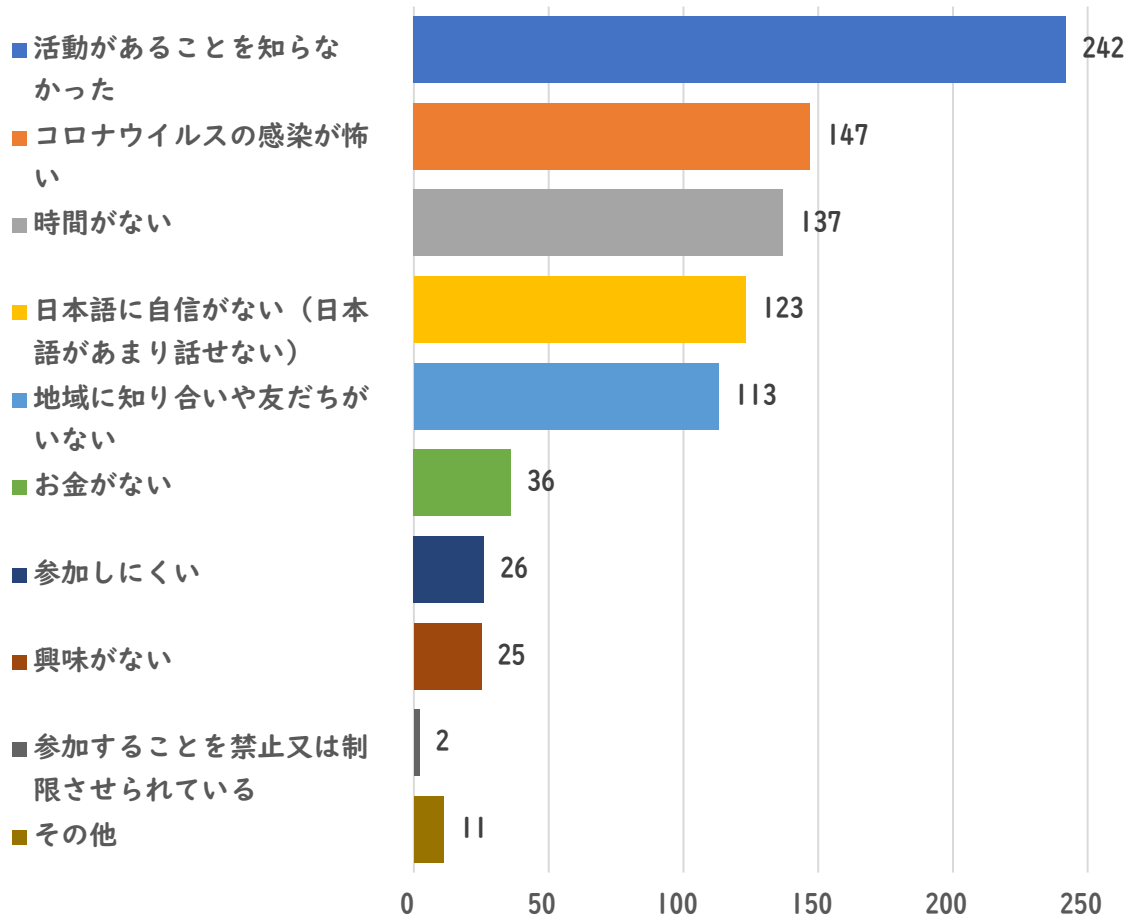
「はい」47.6%、「いいえ」50.9%となっている。

問 41. 問 40 で「はい」と回答した人に聞きます。どのような地域活動(家の近くの地区での活動)に参加したことがありますか。(いくつ選んでもいいです。)



「地域の清掃活動」が 226 人で最も多く、次いで、「日本の料理・文化・言葉を学ぶ活動」173 人、「冠婚葬祭」126 人となっている。

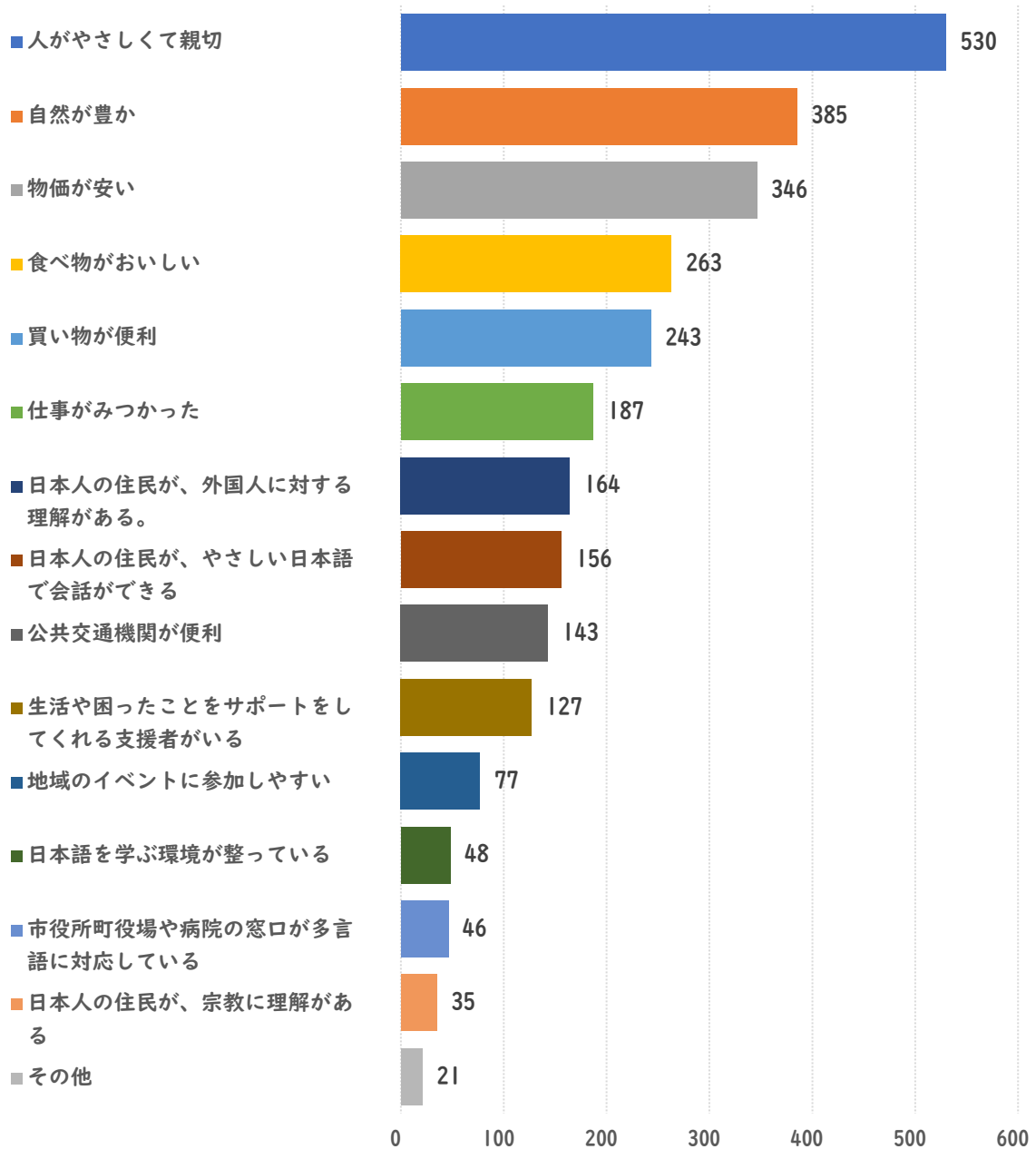
問 42. 問 40 で「いいえ」と答えた人に聞きます。あなたが活動に参加したことがない理由は何ですか。(いくつ選んでもいいです。)



「活動があることを知らなかった」が 242 人で最も多く、「コロナウイルスの感染が怖い」147 人、「時間がない」137 人となっている。

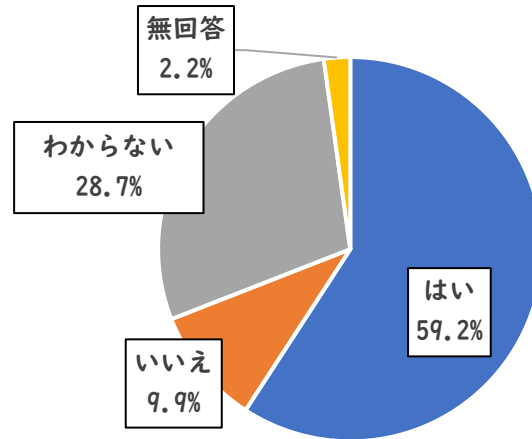
佐賀県について

問 43. 佐賀県(あなたが住んでいる市・町)の良いところは何ですか。(いくつ選んでもいいです。)



「人がやさしくて親切」が最も多く 530 人、次いで「自然が豊か」385 人、「物価が安い」346 人となっている。

問 44. あなたはこれからも、あなたが住んでいる市・町に住み続けたいですか。()には、その理由を書いてください。



「はい」59.2%、「いいえ」9.9%、「わからない」28.7%となっている。

【代表的な理由を抜粋】

	はい	いいえ
県民性	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀の人たちはとてもフレンドリー／親切／礼儀正しい／困った時に助けてくれる ・近所の人たちが親切にしてくれる 	
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が安い ・住みやすい、生活しやすい (快適／静か／安全(治安がいい) 自然が豊か／空気がきれい／清潔／車が少ない／穏やか／混雑していない／気候がいい／便利／食べ物がおいしい／のどかで広々としている) ・災害がほとんどない ・お店、郵便局、学校や行政機関が近くにある 	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が高い ・生活が不便 ・生活インフラが整っていない ・災害の可能性(特に水害) ・商業施設等が少ない ・九州の他の都市と比較し、発展していない
仕事・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事がある ・仕事に満足しているし、とても親切な同僚もたくさんいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が少ない ・仕事の契約が終わる ・給料が安い

	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで就職したい ・自分の学校(勉強)のため ・子どもが学校に通っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・転職する ・帰国してビジネスを始めたい ・帰国して親の仕事を手伝う ・学校を卒業する
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が豊富 ・日本の中でも、子どもの成長のためのいい環境がある。(豊かな自然や子どもたちが遊べる公園が多い) ・図書館、学校、博物館等が近くにあり、子どもの教育環境がいい 	
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便がいい ・九州他エリアへのアクセスが便利 ・佐賀空港に国際便がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便
家族、友人	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者、家族の故郷 ・佐賀に家族がいる ・年齢を重ねたら、家族の世話をすることになる ・家を建てた ・信頼できる友人が近くにいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・両親が恋しくて帰国したい ・同郷の人が多い場所へ行きたい
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が外国人を含めて住民のことを支援してくれる ・外国人に支援が多い ・住民が求める施設がたくさんある ・社会保障がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金や保険が非常に高い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀が大好き ・歴史文化が豊か ・故郷と同じ風景がたくさんある ・思い出がたくさんある ・温泉が大好き ・日本の文化・風習をもっと知りたい ・第二の故郷なので 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域にも住んでみたい ・大都市の方が好き ・若い人を佐賀に呼ぶ魅力がたりない ・田舎／過疎地域なので ・暑くて湿度が高い

問 45. 佐賀県やあなたの住んでいる行政(市役所や町役場)へ求めること(してもらいたいこと)や意見を書いてください。(自由意見)

【意見を抜粋】

項目	意見
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対して、優しくしてほしい(困った時、優しく教えて欲しい) ・佐賀県に住む日本人が外国人の存在を受け入れ、良好なコミュニケーションを築いてほしい。 ・情報交換、共有の場がほしい。
多言語	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、行政機関等で、やさしい日本語での対応／多言語での翻訳／通訳支援 があってほしい。 ・学校からのお知らせ等を、多言語対応してほしい。 ・地域のお知らせにふりがなを書いてほしい。
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に多言語サービスがあればいい。 ・自然災害の発表や緊急警報を多言語で送信してほしい。
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活、仕事、文化的なことを支援するセンターがあればいい。
日本語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで日本語を学べるか教えてほしい。 ・日本語教室に参加したい。 ・外国人児童に日本語教育を専門とする教室があればいい。
人権	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対しての偏見や差別がまだまだ根強く残っていると感じる。
労働	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事探しは大変なので、仕事を紹介してほしい。 ・佐賀に住む外国人の配偶者への短期間の仕事も紹介してほしい。 ・外国人が起業する時のための窓口があればいい。
育児・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて、もっと相談できる場所があれば、子どもにいい環境をつくることができると思う。 ・保育制度を変えてほしい。仕事がないと保育園に預けられない。
行政サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・市町民税を払っているのに、税金がどのように使われているのかについて知りたい。 ・厚生年金、国民年金、社会保険、国民健康保険等、日本で生活するための常識を紹介する講座を開催してほしい。 ・外国人に対する生活ガイダンスがあればいい。 ・オンライン(Web、アプリ等)での申請を増やしてほしい。 ・母国語で書類記入するためのフォームを提供してほしい。 ・外国人が家を借りる支援をしてほしい。

交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人と外国人が交流する機会が増えてほしい。 ・近隣の懇親会やイベントに参加してみたい。 ・どんなイベントがあるのか教えてほしい。
査証(ビザ)	<ul style="list-style-type: none"> ・家族を呼び寄せる時に、日本でのビザ取得に関してサポートしてほしい。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・より国際的な環境を作り、佐賀の美しさを広めてほしい。 ・外国人向けのビジネスや観光スポットの情報が掲載された外国語の雑誌があればいい。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が不便なので、改善してほしい。 ・よかろうもん運転の取り締まりをもっと厳しくしてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が寂しいのは残念なので、もっと活性化してほしい。